

Miエナジー清掃、点検リスト

治療器を正常かつ安全に使用し、効能や効果を十分に維持するために下記の点検をしてください。
異常がみられる場合は、ご使用中を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

	項目	内容	備考
1回/月	本体清掃	液晶パネルにヒビ、割れ等がないこと 外装にヒビ、割れ等がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
	電源コード	電源コードに裂傷、断線がないこと コンセントと電源コードプラグ間にほこりがないこと	電源コードのプラグを抜いてからほこりを取り除いてください。
1回/週	導子極板	導子極板に濡れや湿りがなく、乾燥していること	治療終了後はベルトを外し、各導子極板を離れた状態で自然乾燥させてください。
		導子極板ケーブルや導子極板(装着部)に破損、裂傷、断線、変形がないこと	左記症状がある場合は、販売店にご連絡ください。
		治療中、導子極板からビリビリとした電氣的刺激がないこと	
毎日	カバー、ベルト	清潔に保たれていること	汗等の成分が付着しますので、こまめに洗濯してください。
	エナジーチェックによる点検	📖 29、30ページ参照	エナジーチェック表示部に「OK」が表示されない場合は、販売店にご連絡ください。

- ① 感電のおそれがありますので、お手入れのときは、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- ② お手入れするときは、ベンジンやシンナーなどを使用せず、柔らかい布等で乾拭きしてください。
- ③ 液晶パネルは、強く拭きますと画面が破損し、障害が発生しますので、木綿等の柔らかい布で拭いてください。
- ④ 濡れている導子極板や湿っている導子極板は、ドライヤーやストーブなど高温で乾燥せず、自然乾燥してください。
- ⑤ 濡れた手で導子極板を触らないでください。



保証書について

保証書(3枚目)はお客様の控えです。取扱説明書と同様に大切に保管してください。

お客様の個人情報の利用目的

お客様にご記入頂いた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

保証書と同じ内容を下記に記入しておく点検、修理、消耗品の注文などを依頼されるときに便利です。

製造番号	お買い求め日	お買い求めの販売店
21JP()	年 月 日	TEL() -

修理・お手入れ・お取り扱いなどのご相談はまずお買い求めの販売店へお申し付けください。
または商品名、製造番号をご確認の上、下記へご連絡ください。

お問い合わせ内容	連絡先	
使用方法等について	TEL : 0877-45-5333(代)	FAX : 0877-45-1881
故障等について	TEL : 0877-45-3200	FAX : 0877-45-3600

- 受付時間：午前9：00～午後6：00 月曜～金曜まで(土日祝日及び弊社休日指定日を除く)

製造販売元・製造元

レルテック医療器株式会社

〒762-0025 香川県坂出市川津町3795番地1
TEL(0877)45-5333(代) FAX(0877)45-1881
<http://www.reltec.co.jp>

Miエナジー取扱説明書 (PDF版)  ET21_IM_22.07 (日)
(第7版-第1刷)

reltec

取扱説明書

電位治療器

Miエナジー ET-21

医療機器認証番号

21500BZZ00602000



- このたびは、Miエナジーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくお使いください。
- いつでもご覧いただけるように大切に保管してください。

1. 正しくご使用いただくために

目次


1. 正しくご使用いただくために…………… 2 ページ	9. 操作方法……………20ページ
2. 効能及び効果…………… 6 ページ	10. 使用後の注意事項……………27ページ
3. 構成…………… 6 ページ	11. お手入れと保管……………28ページ
4. 本体各部の名称と機能…………… 7 ページ	12. エナジーチェック……………29ページ
5. 組立・設置方法…………… 8 ページ	13. トラブル対処方法……………30ページ
6. 導子極板についての注意事項……………12ページ	14. 仕様……………32ページ
7. 治療方法……………13ページ	15. その他……………34ページ
8. 導子極板のあて方例……………14ページ	


1. 正しくご使用いただくために

このたびは、Miエナジーをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
Miエナジーは、頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘を緩解する電位治療器です。
尚、日本国内仕様のため、安全上及び法律により、海外ではご使用出来ません。


ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しくご使用ください。


● 下記の表示が付いている文書は、この表示を無視して誤った取扱をすると、ご使用者や他の人への危害及び物的損害が想定される内容を説明しています。

 **警告** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取扱をすると「人が傷害を負う可能性または物的損害が想定される」内容を示しています。

● 下記の絵表示が付いている文書は、禁止事項や指示事項の内容を説明しています。

 **禁止** この絵表示が付いている文書は、してはいけない「禁止事項」の内容を示しています。

 **強制** この絵表示が付いている文書は、必ずしなければならない「指示事項」の内容を示しています。

使用する前に次の事項にご注意ください。

⊘ 禁忌・禁止

以下に示す人で医師が不相当と判断した場合、使用しないでください。

1. 急性疾患のある人
2. 悪性腫瘍のある人
3. 心臓疾患のある人(心臓に障害のある人)
4. 高熱疾患のある人
体温38℃以上(有熱期)の人
(急性炎症症状[倦怠感、悪寒、血圧変動など]の強い時期にある人。衰弱している人)
5. 妊娠している人 妊娠初期の不安定期又は出産直後の人
6. 安静を必要とする人
7. 脊椎の骨折、捻挫、肉離れなど急性(痛風性)疾患の人
8. 糖尿病などによる高度な末梢循環障害による知覚障害のある人
9. 皮膚知覚障害、又は皮膚に異常(感染症、創傷など)のある人
10. 低温やけどをしやすい人
11. その他重篤な人

⊘ 併用禁忌

次のような医用電気機器や人工臓器などの併用は、影響を与える可能性があるため、使用しないでください。

1. 超短波治療器、マイクロ波治療器、電気メスなどの強力な電磁波を放出する装置、強力な磁力線を放出する装置、又はX線を放出する装置との近接した場所での操作(例えば、1 m程度の距離)は、電位治療器の制御を不安定にする。
2. ペースメーカや植込み型除細動器などの電磁障害の影響を受けやすい体内植込み型医用電気機器
3. 心電計などの装着形の医用電気機器
4. 人工心肺などの生命維持用医用電気機器
5. 人工中耳や人工内耳、金属製の人工心臓弁など

⚠ 警告

1. 乳幼児、子供、自分で意思表示できない方は、おひとりでの使用はしないでください。
2. 身体に異常を感じたときには使用を直ちに中止し、医師に相談してください。
3. 導子極板が濡れているときには、使用しないでください。
4. 治療中は電撃が生じる可能性があるため、第三者又は周囲の電気機器に絶対に触れないようにしてください。又、操作者は治療中の人と機器本体に同時に触れないようにしてください。
5. 次のような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談してください。
付属品のベルトは天然ゴムを使用しています。天然ゴムはかゆみ、発赤、じん麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。
6. 他の機器に隣接させてまたは積み重ねて使用すると誤動作する可能性があるため、そのような使用はしないでください。
7. 電磁エミッション、電磁イミュニティへの適合に影響を与える可能性がある付属品として電源コード、導子極板 AC、YD が該当します。
8. 弊社が提供する付属品(電源コード、導子極板 AC、YD)以外を使用すると電磁エミッションが増加もしくは電磁イミュニティが減少し誤動作が繰り返される可能性があるため当社が提供する付属品(電源コード、導子極板 AC、YD)以外は使用しないでください。
9. 携帯形の R F 通信機器(アンテナケーブル及び外部アンテナなどの周辺機器を含む)は、製造業者によって規定されたケーブルを含めて、Miエナジーのどのような部分からも30cm(12インチ)以上離して使用することが望ましい。そうでないと、この機器に性能の低下がもたらされることがあります。

1. 正しくご使用いただくために

⚠ 注意



分解禁止

- 本体の内部は、高電圧が発生しています。絶対にケースをあけないでください。
- 本体及び付属品の分解・修理・改造をしないでください。
- 本体及び付属品を他の用途に使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。



火気禁止

- たばこなどの火気を近づけないでください。
- 本体や付属品を暖房器具に近づけないでください。火災や故障のおそれがあります。



- 風呂場など、水分や湿気の多い場所では使用しないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。
- 本器及び付属品(エナジーチェック、導子極板)を水につけて洗わないでください。液体が内部に入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いて使用しないでください。
- 濡れた手で製品を扱わないでください。感電などのけがや故障のおそれがあります。



電源プラグをコンセントから抜く

- 異常な臭い、異常な音、煙が発生する等機器の異常に気付いたときは電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
 - 製品を落としたり、倒したり、強い衝撃が与えられたときは、すぐに電源スイッチを切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いて使用しないでください。
- ※ 上記の場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- 雷が発生しているときは、使用を中止し、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。停電のときは、直ちに電源スイッチを切ってください。



禁止

- 電源コードは、束ねないでください。
- 電源コードの上に家具などの重いものをのせないでください。
- 電源コードを引っ張ったり、ねじったりしないでください。
- 電源コードを操作できない場所に置かないでください。

表示マーク説明



高電圧注意



B形装着部



取扱説明書参照



付属文書参照



交流

ケアマーク説明



われもの注意



天地無用



取扱注意



積段数制限



火気厳禁



転がし禁止



直射日光遮へい



水濡れ注意



温度制限



湿度制限

2. 効能及び効果 以下の症状を緩解します。



3. 構成 ※下記の内容をご確認いただき、チェック☑をお付けください。



本体
(1台)

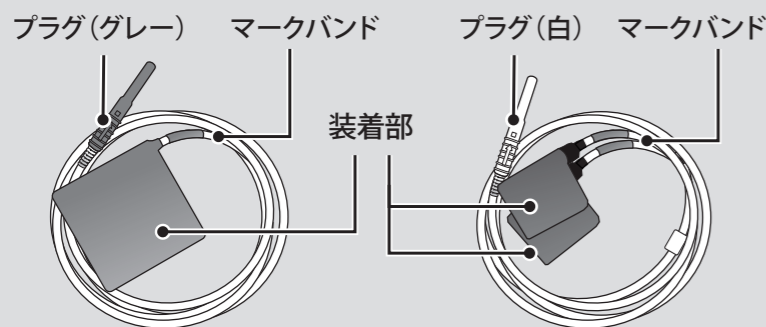


保証書
(1部)



取扱説明書
(1部)

付属品 (保証対象外)



ベルト

- 大……………1本 (長さ: 120cm)
- 中……………1本 (長さ: 80cm)
- 特小W…4本 (長さ: 30cm)

導子極板AC (2本)
マークバンド: 赤色、青色

導子極板YD (2本)
マークバンド: 赤色、青色

カバー小 (4枚)

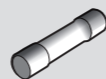
カバー特小 (8枚)



スパイラルチューブ

- 導子極板… 4m仕様: 16本
- 2.5m仕様: 10本

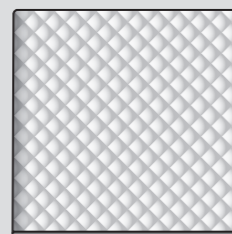
予備ヒューズ (2A)
(1個)



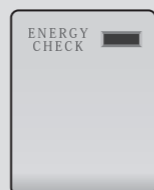
電源コード (1本)



接地アダプタ
(1個)



絶縁マット (1枚)

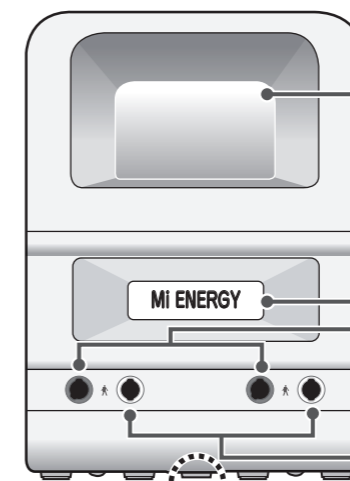


エナジーチェック
(1個)

※枠内の付属品はすべて消耗品 (保証対象外) になります。

4. 本体各部の名称と機能

前面



液晶画面

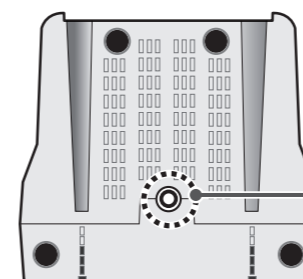
液晶画面を指で軽く触れて操作します。導子極板を装着後、電源スイッチ、液晶画面のキーが正常に作動するか確認してください。

光銘板

電源スイッチを入れると銘板が光ります。

導子極板ACの差し込み口 (ソケット: グレー) ●

導子極板YDの差し込み口 (ソケット: 白) ●



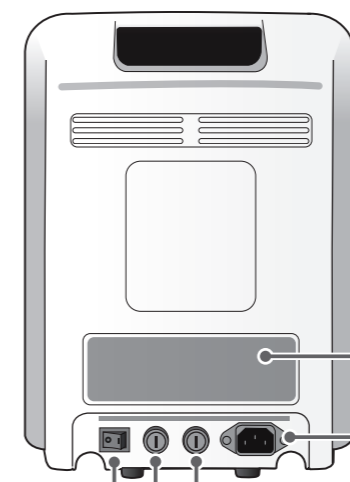
底面

安全スイッチ

本体が正常に設置されていない時自動停止します。



後面



定格ラベル

製造番号等が記載されています。

電源コードのコネクタ差込口

AC100-240Vを使用してください。
(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)

電源スイッチ

● 印が「切」 OFF I 印が「入」 ON

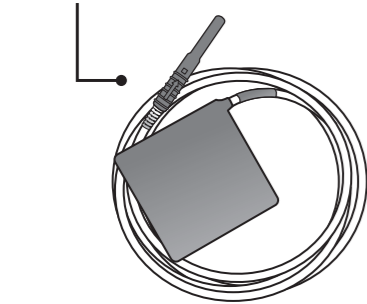
ヒューズホルダー

5. 組立・設置方法

1. 導子極板AC・YDの接続

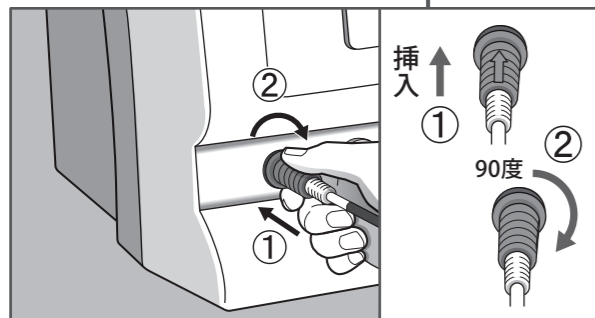
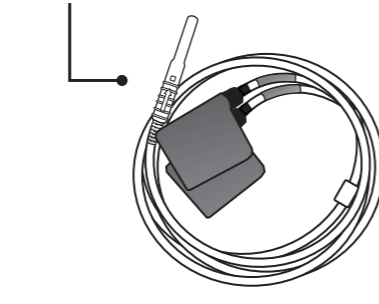
導子極板 AC

プラグ(グレー)

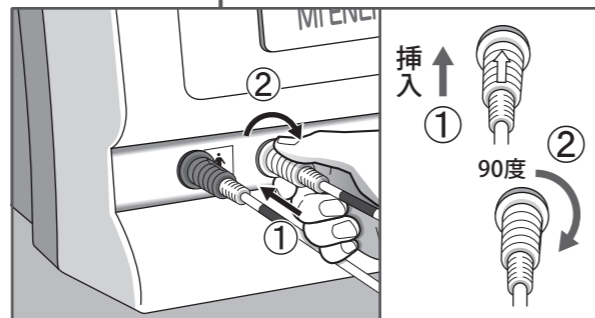


導子極板 YD

プラグ(白)



導子極板ACプラグ(グレー)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(グレー)にまっすぐ奥まで挿入し右に90度回します。



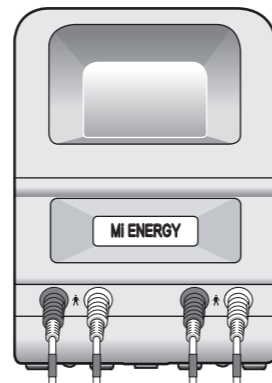
導子極板YDプラグ(白)の↑(矢印)を上にして本体ソケット(白)にまっすぐ奥まで挿入し右に90度回します。

※ 導子極板YDは↑(矢印)を下にしても挿入可能です。

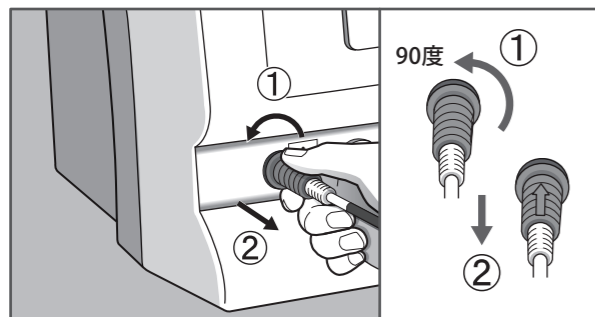
⚠ 注意

- 必ず90度回してください。
90度回さないと固定されずプラグが抜ける恐れがあります。
- プラグとソケットの色は、必ず合わせて挿入してください。
ソケットの色と違う色のプラグを挿入すると、プラグが抜けなくなったり、破損する恐れがあります。

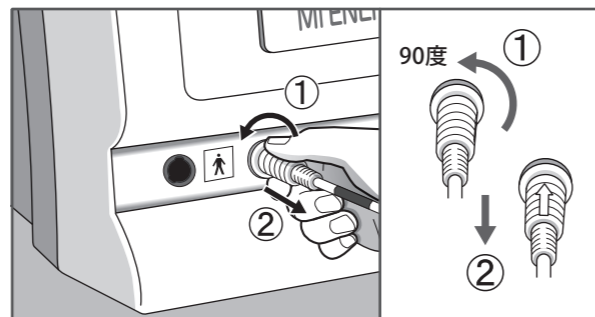
[完成図]



導子極板AC、導子極板YDを取り外す場合



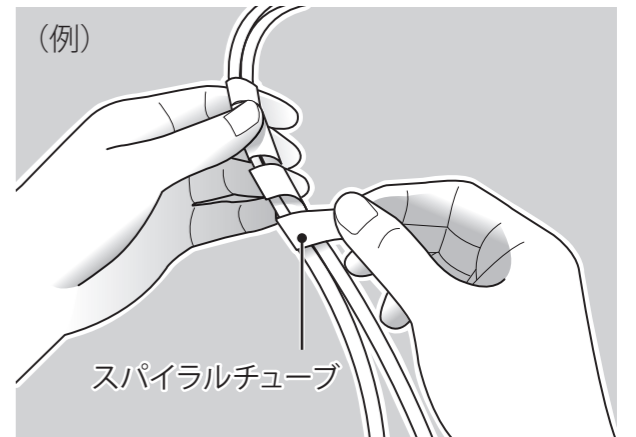
導子極板ACプラグ(グレー)を左に90度回し、まっすぐ引き抜きます。



導子極板YDプラグ(白)を左に90度回し、まっすぐ引き抜きます。

● スパイラルチューブの巻き方例

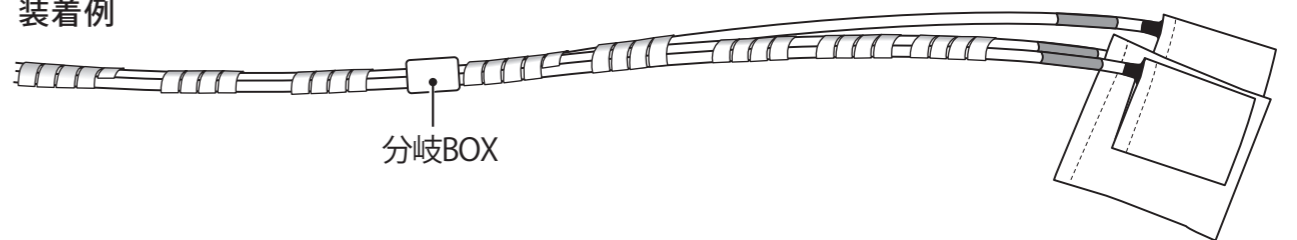
各導子極板のケーブル同士を付属のスパイラルチューブで巻いて束ねてください。



導子極板4mの場合

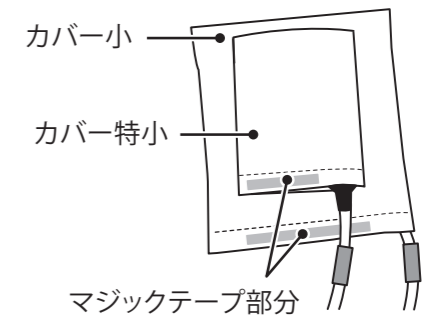
スパイラルチューブ16本(8本×2セット)

装着例



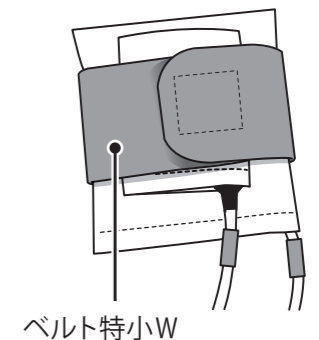
● カバー小・特小の取付け方

付属のカバー小・特小を極板本体に取り付けてください。
袋形状カバーの一边のマジックテープを開放して導子極板本体を挿入し、再びマジックテープを閉じます。



● ベルトの使い方

導子極板を身体に装着するための付属のベルトを用意してください。
長さの異なる大・中・特小Wのベルトがあり、身体に装着しやすいように伸縮性と固定のためのマジックテープが備わっています。

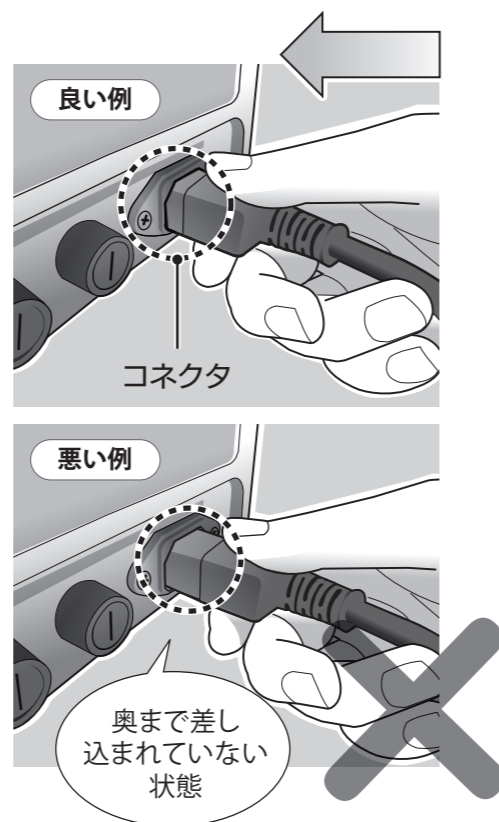
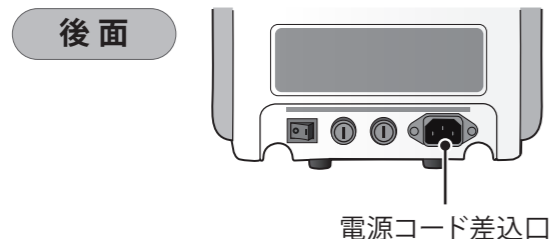


5. 組立・設置方法

2. 電源コードの接続 電源コード差込口は脱落防止のため、差込口が固めに作られています。

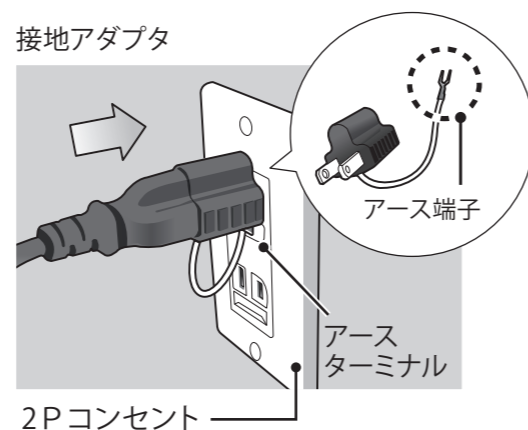
1 電源コードのコネクタを差し込んでください。

本体後面の差込口と付属の電源コードのコネクタの接続は、ゆるみや外れが生じないようにしっかりと差し込んでください。

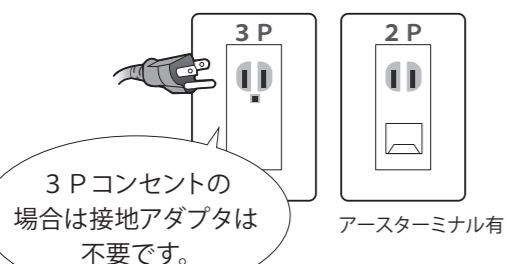


2 2Pコンセントの場合は、付属の接地アダプタを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。

- ① 直射日光のあたらない強固で安定した平らな場所に本器を水平に置いてください。
- ② AC100Vコンセントと電源コードのプラグの接続はゆるみや外れが生じないようにしっかりと差し込んでください。



警告 電撃の危険を回避するために、この機器は保護接地を備えた電源だけを使用してください。



2Pコンセントの場合
3Pプラグに付属の接地アダプタを接続し、アース端子をアースターミナルに接続してください。

※ アースターミナルがない場合は販売店にご相談ください。

3. 絶縁マットを敷く

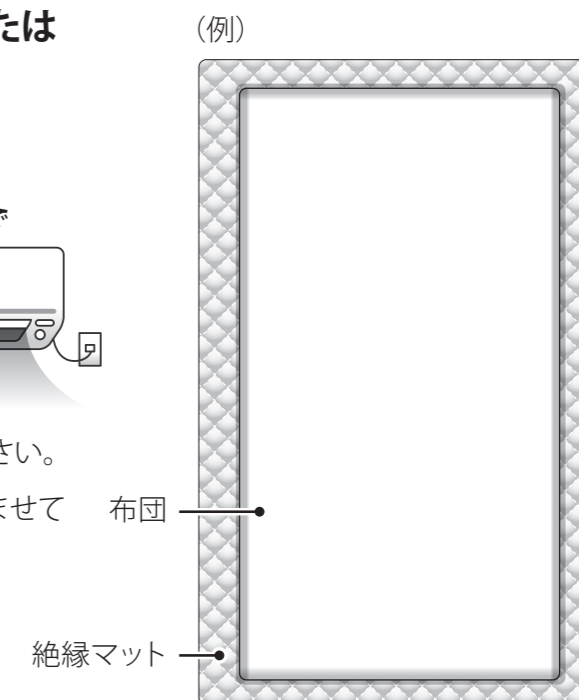
絶縁マットを治療ベッドや布団の上または下に敷いてください。

治療する部屋の室温を適温に調節してください。



お手入れの方法

- 絶縁マットは柔らかい布で、から拭きしてください。
- 汚れが落ちにくい場合は、布に中性洗剤を含ませて拭いてください。
- 陰干しして十分に乾燥させてください。



⚠ 注意



禁止

- 本体や付属品のそばに花瓶や水槽など、液体の入った容器を置かないでください。液体が内部に入ると火災や故障のおそれがあります。
- 振動の多い場所や傾斜、衝撃のある不安定な場所に置かないでください。
- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くなど温度が高くなる場所に置かないでください。
- ほこり、塩分、硫黄等による悪影響のある場所に置かないでください。
- 強電磁界が発生するMRIや短波治療器、高周波メスなどの近傍での使用はしないでください。また、電磁波の発生するマイクロ波治療器からの直射照射を受ける場所に置かないでください。
- 他の電気製品の近くに置かないでください。
- 機器の上に物を置かないでください。
- 感電や故障の恐れがありますので濡れた手で使用しないでください。
- 他の治療器および電気毛布や電気あんかなどの電気製品との同時使用はしないでください。
- 金属繊維などの導電性物質を含む布団とともに使用しないでください。
- 各導子極板プラグの本体差込口のソケットに金属棒などを挿入しないでください。
- 使用中及び保管時にケーブルに損傷を与えないようにしてください。

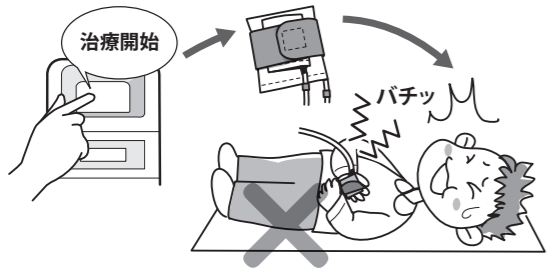


6. 導子極板についての注意事項

次の点に注意して正しく使用してください。

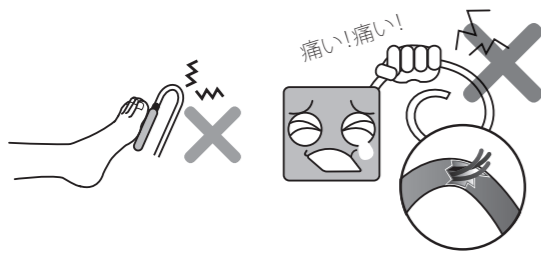
● 必ず導子極板を装着してから治療を開始してください。

治療を開始してから導子極板を装着すると導子極板の破損及び不快な電氣的刺激(静電気のような刺激)を感じる場合があります。また、治療中に導子極板を外す場合は、治療を停止させてから行ってください。



● 断線の原因に…

導子極板のケーブルに無理な力が加わらないようにしてください。極端に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、小さく束ねたり、重いものを乗せたり挟み込んだりしないでください。ケーブルの寿命を縮め、火災、感電、事故などの原因となります。またプラグ部分に衝撃を与えると、プラグの損傷の原因となりますのでご注意ください。



● 曲げ過ぎないでください。

導子極板を装着する際には、過度の締め付け等により曲げ過ぎないように固定してください。曲げ過ぎると導子極板の破損の原因になります。



● 金属を接触させないでください。

治療中は身体及び導子極板に金属(ベッド、椅子、貴金属等)を接触させないでください。

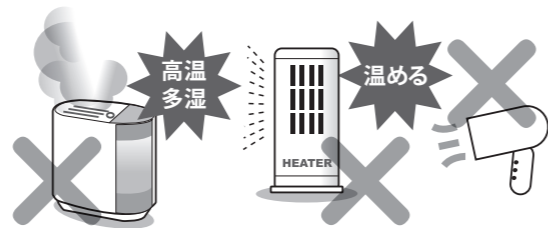
● 塗り薬、汗に注意!

手が汗で濡れているときや、塗り薬などが塗られているときは、必ず拭き取ってご使用ください。



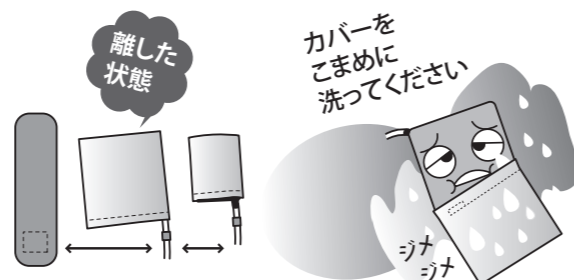
● 高温多湿は導子極板を傷めます

導子極板が汗で濡れていたり、湿っている場合は十分に乾燥させてからご使用ください。ただしドライヤーを使用したり、ストーブにあてるなど高温での乾燥は導子極板を傷めてしまいますので絶対にお止めください。



● ジメジメ注意!!

治療は各導子極板の裏表を交互に使用してください。治療終了後はベルトを外し、導子極板AC、導子極板YDを離れた状態で自然乾燥させてください。また付属品のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。



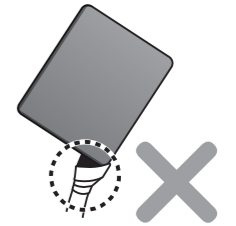
● 傷んだときは

導子極板は、少しでも傷んだときは怪我や感電の恐れがありますので、使用しないで新しい物に交換してください。

● 不具合が生じている場合

導子極板に損傷などの不具合が生じている場合、すぐに使用を中止してください。ご自身で修理をしたりそのまま使用すると危険ですので、お買い求めの販売店もしくは弊社までご相談ください。

悪い例) テープで補強している



7. 治療方法

標準的な治療例

期間	初日	2日目	3日目	4日目	5日目	6日目	7日目	8日目~
1回の治療時間(例)	約5分	→		約10分	→			約15~30分
1日の治療回数(例)	1日1回~5回治療							

- ① 上記の表は標準的な治療の一例です。体調に合わせて期間、治療時間、治療回数を適宜、選択してください。
- ② 初めて使用されるときは、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら少しずつ身体を慣らしてください。
- ③ 続けて使用せず、治療と治療の間は1時間以上あけてください。
- ④ 過剰使用は、一時的な身体のだるさを感じるおそれがあるため、年齢、健康状態、体調により治療時間を調節してください。
- ⑤ お子様や身体の弱い方など、年齢、体力、体重により、治療時間は20分以内にするなど、適宜、選択してください。
- ⑥ 医師の指示があるときは、医師の指示に従ってください。
- ⑦ 各導子極板の裏表を交互に使用してください。
- ⑧ 使用の途中で、他の部位または別の人に使用するときは、必ず、治療を停止してから行ってください。
- ⑨ 身体に異常を感じたときは、直ちに使用を中止し、医師の指示に従ってください。
- ⑩ 1ヵ月以上使用しなかったときは、使用当初と同じように、短時間(約5分)で使用し、治療回数を重ねながら、少しずつ身体を慣らしてください。

8. 導子極板のあて方例

仰向けになって治療してください。

青色マークバンド→青 導子極板AC→AC
 赤色マークバンド→赤 導子極板YD→YD
 治療と治療の間は1時間以上あけてください。

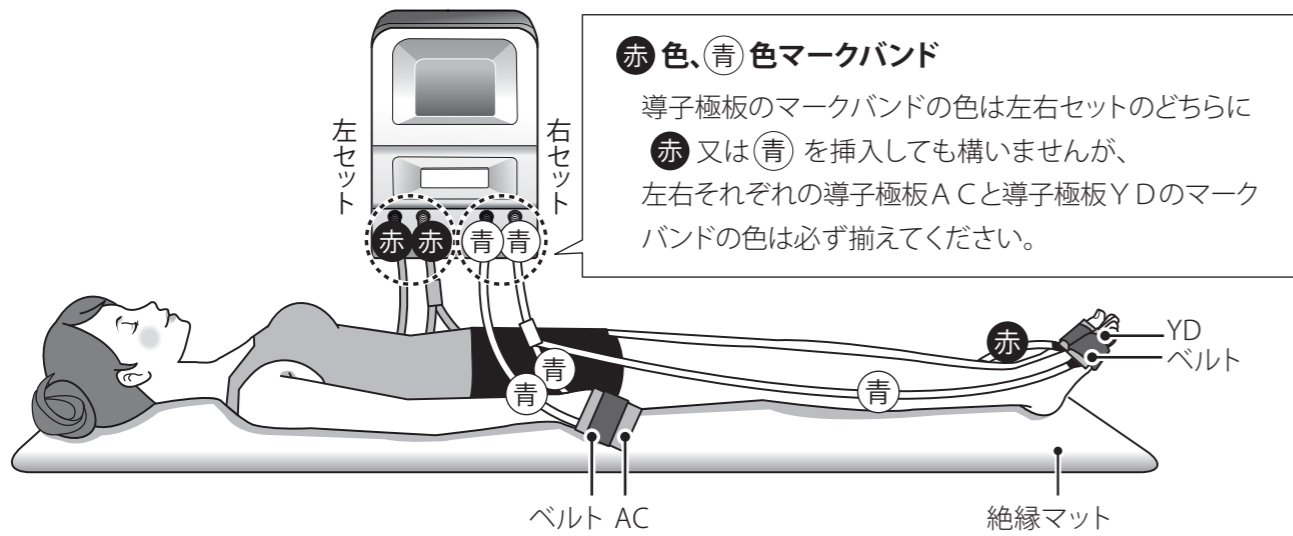
※ 治療を開始する前に、必ず導子極板ACと導子極板YDを付属のベルトで適切に装着してください。

1. 基本のあて方(両手と両足)

頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘 全てに該当

手背に導子極板AC、手掌に導子極板YD、両足の甲に導子極板YDをあてた状態

2極



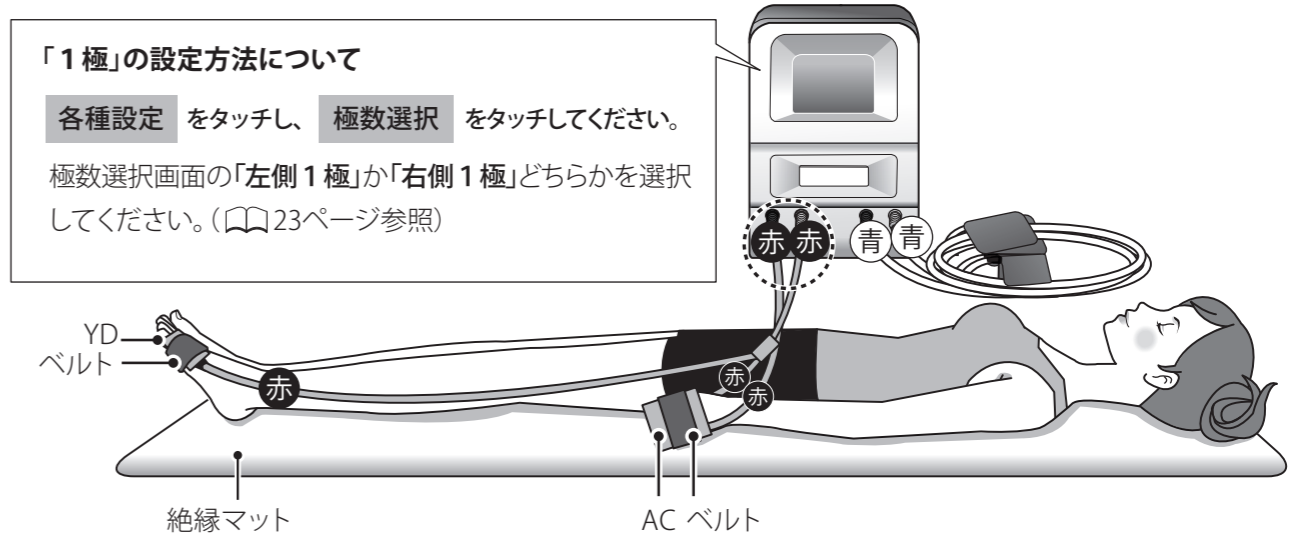
赤色、青色マークバンド
 導子極板のマークバンドの色は左右セットのどちらかに赤又は青を挿入しても構いませんが、左右それぞれの導子極板ACと導子極板YDのマークバンドの色は必ず揃えてください。

2. 1極のあて方(片手と片足)

頭痛、肩こり、不眠症、慢性便秘 全てに該当

手背に導子極板AC、手掌に導子極板YD、片足の甲に導子極板YDをあてた状態

1極



「1極」の設定方法について
 各種設定 をタッチし、極数選択 をタッチしてください。
 極数選択画面の「左側1極」か「右側1極」どちらかを選択してください。(P.23ページ参照)

手の装着方法

指先にあてる

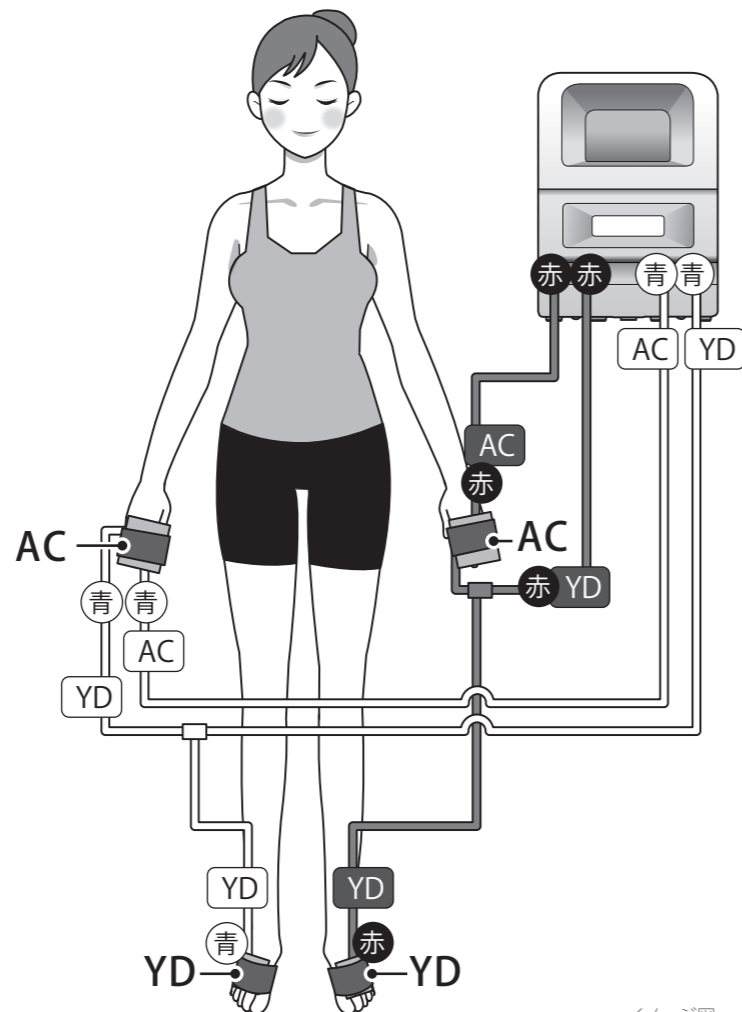
導子極板AC
 ベルト
 導子極板YD
 マークバンド

- 導子極板ACと導子極板YDがお互いに触れないようにあててください。
 手掌に導子極板AC、手背に導子極板YDをあててもかまいません。

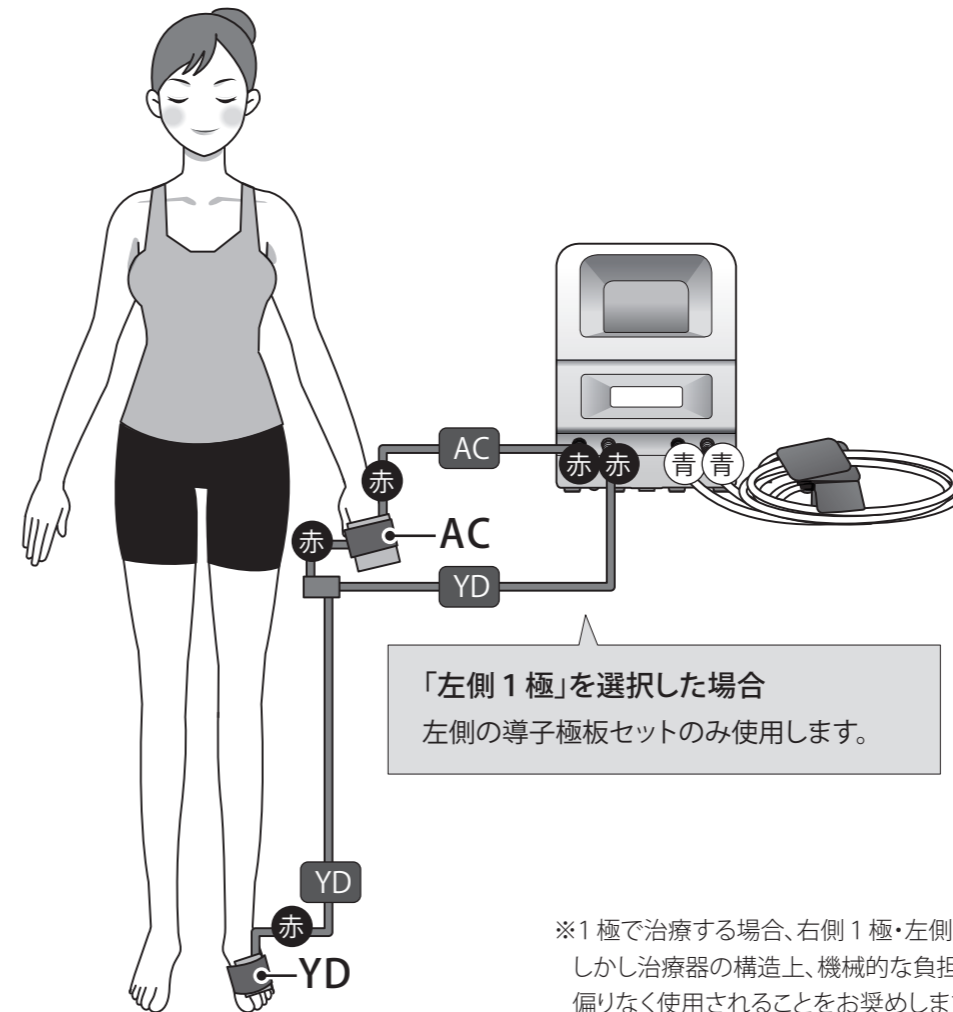
足の装着方法

ベルト
 導子極板YD
 マークバンド

- 足の甲、裏どちらにあててもかまいません。
 (フィットする方にあててください。)



イメージ図



「左側1極」を選択した場合
 左側の導子極板セットのみ使用します。

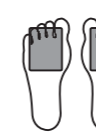
※1極で治療する場合、右側1極・左側1極のどちらを選択しても効果は同じです。しかし治療器の構造上、機械的な負担を軽減するために右側1極・左側1極を偏りなく使用されることをお奨めします。

イメージ図

8. 導子極板のあて方例



手掌にAC、
手背にYDでも
可。



足の甲、裏どちらでも可。
(フィットする方にあてて
ください。)

青色マークバンド→ (青)
赤色マークバンド→ (赤)

導子極板AC→ AC
導子極板YD→ YD

治療と治療の間は1時間以上あけてください。

3. 効能、効果別のあて方例

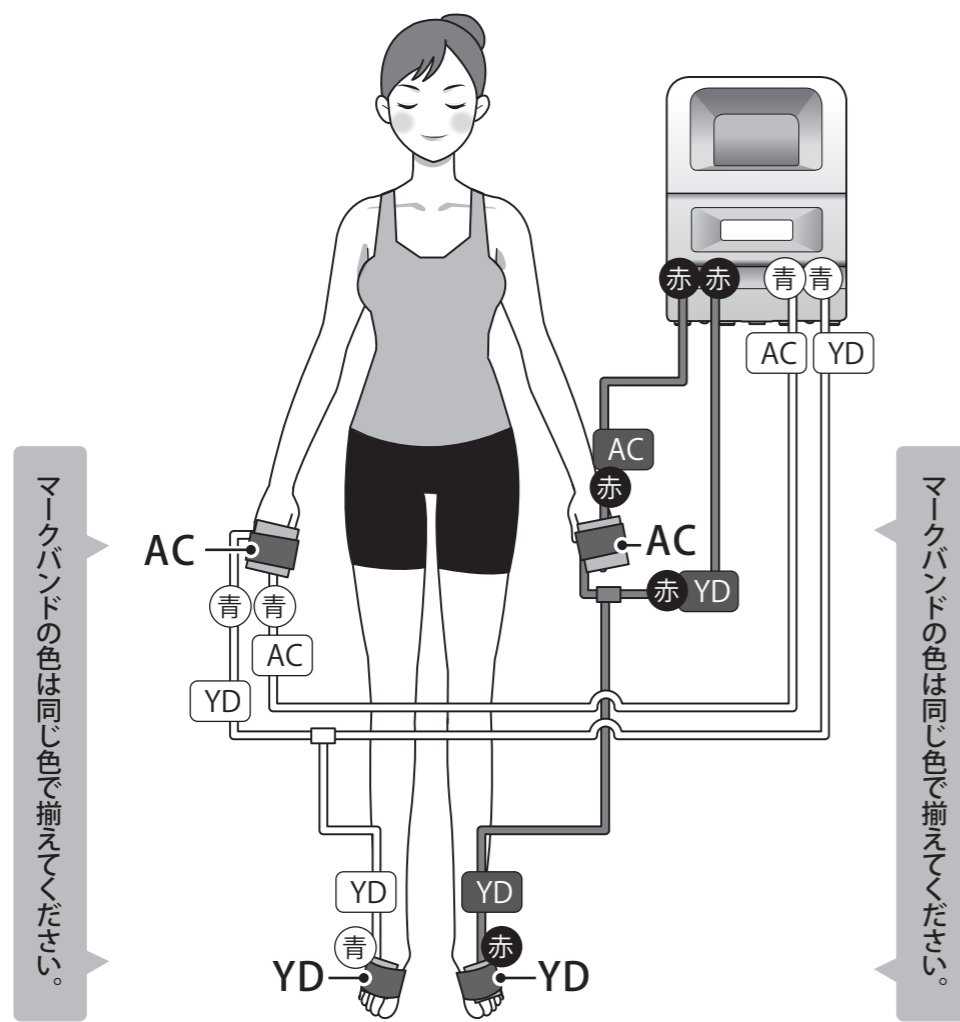
基本のあて方

- 頭痛
- 肩こり
- 不眠症
- 慢性便秘

全てに該当します

● 両手と両足

手背に導子極板AC、手掌に導子極板YD、両足の甲に導子極板YDをあてた状態。仰向けになって治療してください。



マークバンドの色は同じ色で揃えてください。

マークバンドの色は同じ色で揃えてください。

イメージ図 (説明のため、形状・色等は実際とは異なります。)

※17ページ上図を必ずご確認ください。

頭痛、不眠症のあて方

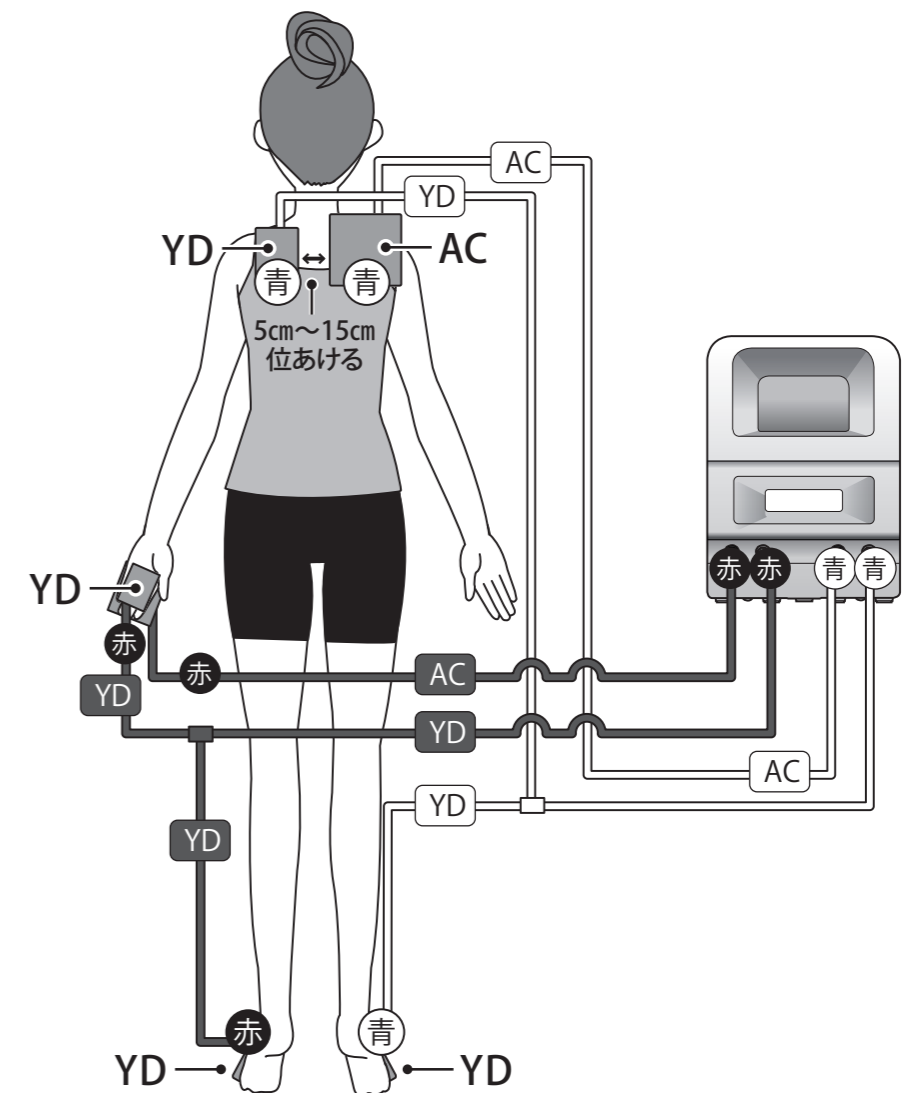
両手と両足 (16ページ)

または

後頸部と片手と両足

● 後頸部と片手と両足

首の後ろ側の付け根に導子極板ACをあて、導子極板同士が触れ合わないよう
5cm~15cm位あけて、導子極板YDを並べてください。
(身体の重みを利用して導子極板を固定してください。)
もう一方の導子極板ACを左手背、導子極板YDを左手掌にあて両足の甲に
導子極板YDをあてた状態。仰向けになって治療してください。



手は左右どちらにあててもかまいませんが、手と足のマークバンドの色は同じ色で揃えてください。

イメージ図 (説明のため、形状・色等は実際とは異なります。)

8. 導子極板のあて方例



手掌にAC、
手背にYDでも
可。



足の甲、裏どちらでも可。
(フィットする方にあてて
ください。)

青色マークバンド→ **青**
赤色マークバンド→ **赤**

導子極板AC→ AC
導子極板YD→ YD

治療と治療の間は1時間以上あけてください。

3. 効能、効果別のあて方例

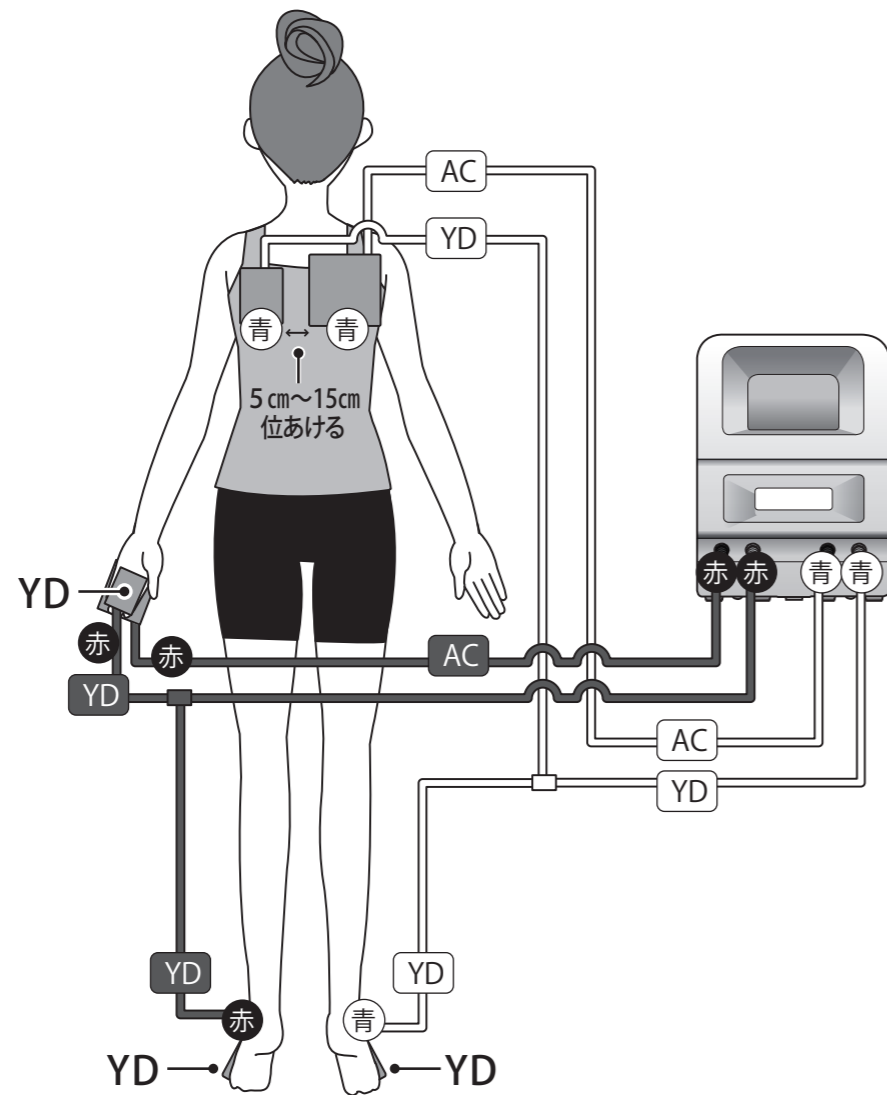
肩こりのあて方

両手と両足 (16ページ)

または 肩と片手と両足

● 肩と片手と両足

肩こりのある部位に導子極板ACをあて、導子極板同士が触れ合わないよう
5cm~15cm位あけて導子極板YDを並べてください。
(身体の重みを利用して導子極板を固定してください。)
もう一方の導子極板ACを左手背、導子極板YDを左手掌にあて両足の甲に
導子極板YDをあてた状態。仰向けになって治療してください。



手は左右どちらにあててもかまいませんが、手と足のマークバンドの色は同じ色で揃えてください。

イメージ図 (説明のため、形状・色等は実際とは異なります。)

※19ページ上図を必ずご確認ください。

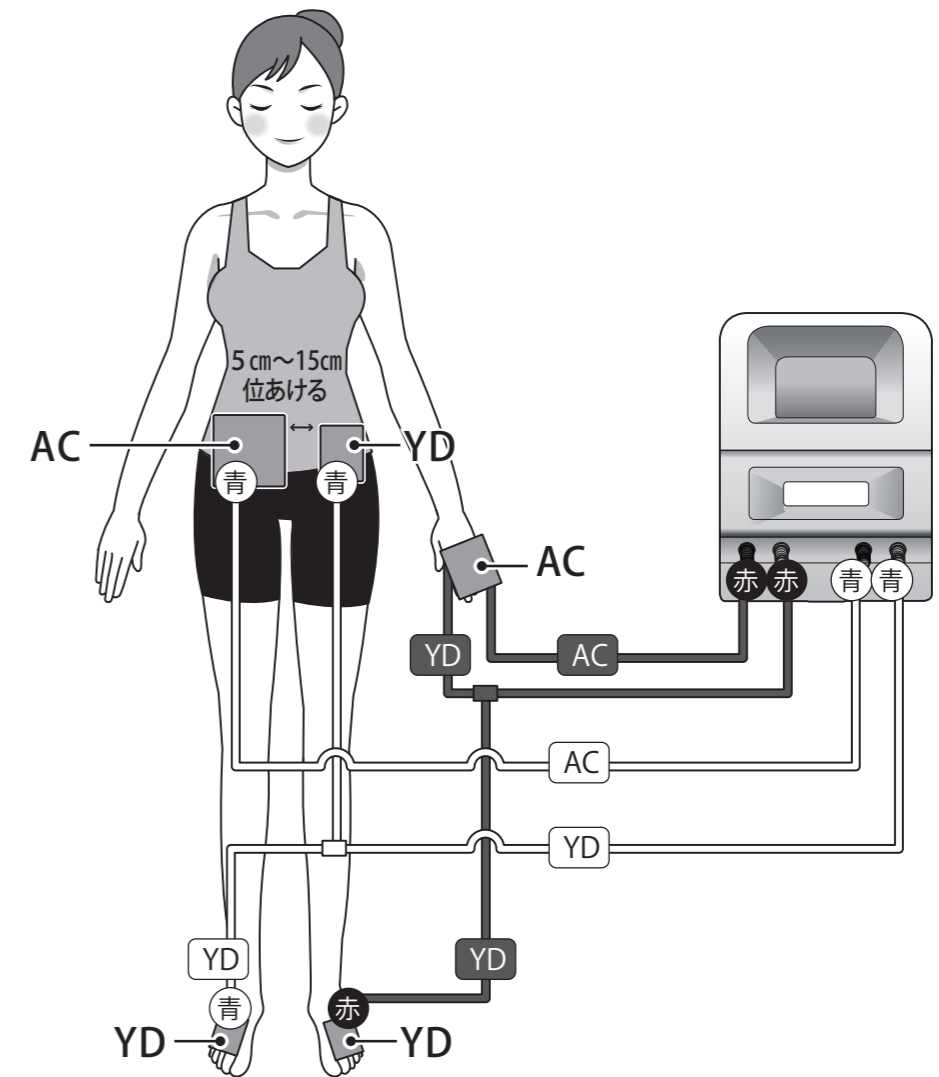
慢性便秘のあて方

両手と両足 (16ページ)

または 下腹部と片手と両足

● 下腹部と片手と両足

下腹部には、導子極板ACの横に導子極板同士が触れ合わないよう
5cm~15cm位あけて導子極板YDを並べてください。
(付属のベルトを利用して極板を固定してください。)
もう一方の導子極板ACを左手背、導子極板YDを左手掌にあて両足の甲に
導子極板YDをあてた状態。仰向けになって治療してください。



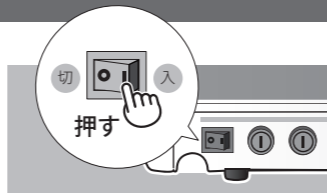
手は左右どちらにあててもかまいませんが、手と足のマークバンドの色は同じ色で揃えてください。

イメージ図 (説明のため、形状・色等は実際とは異なります。)

9. 操作方法

1. 電源を入れる

1 本体後面の電源スイッチを押して「入」にしてください。



2 しばらくすると、液晶画面が「治療時間選択画面」になります。



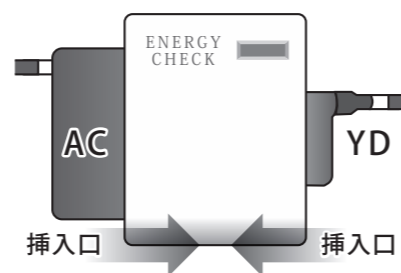
注意

- 液晶パネルの表示画面の操作は硬いものや尖ったもので行わないでください。
- 液晶パネルに必要以上の強い力を加えないでください。

禁止

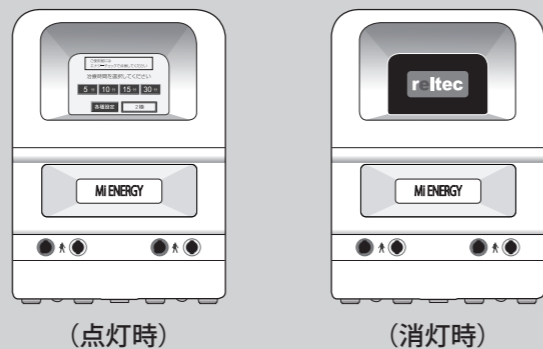
※ご使用前にはエネルギーチェックで点検してください。

エネルギーチェックは、本体からの出力有無や導子極板ケーブルの導通有無を確認するものです。
導子極板の消耗・劣化状態を確認するものではありません。
(29、30ページ参照)



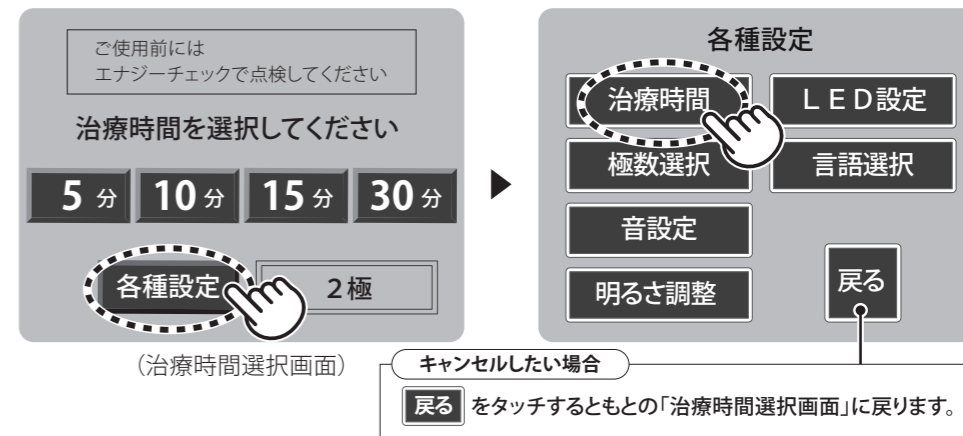
液晶画面の自動消灯について

「治療時間選択画面」で、1分間画面操作又は画面変更がなければ液晶画面が自動的に消灯します。
復帰する場合は、液晶画面に触れることにより画面表示されます。



2. 治療時間設定をする 治療時間の出荷時の設定は5分、10分、15分、30分です。

1 各種設定 をタッチし、治療時間 をタッチします。



2 メモリ1 をタッチするとテンキーが表示されます。メモリ2～4も設定可能です。



3 例) 25分に設定する場合 2 → 5 → ENT をタッチし、決定 をタッチしてください。



タッチ操作について

- エスケープ** ESC 前の画面に戻ります。
- クリアー** CLR 入力を間違えた時にタッチすると入力中の数字が全て「0」になります。
- バックスペース** BS ひとつ数字が後退します。カーソルの数字が消去されます。
- エンター** ENT 入力内容を確定するときに使います。

9. 操作方法

2. 治療時間設定をする(つづき)

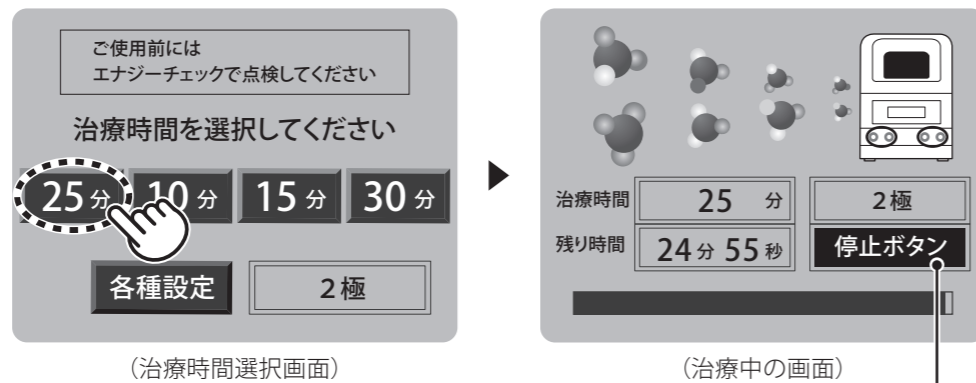
4 「各種設定画面」になります。

戻る をタッチします。



5 「治療時間選択画面」になります。

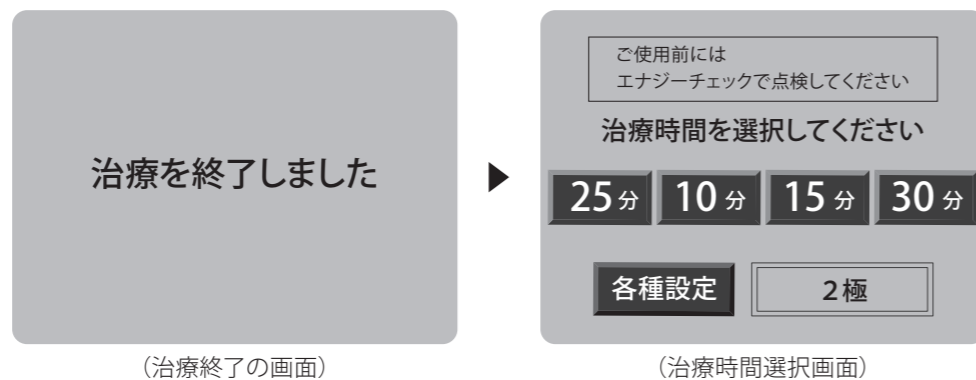
25分 をタッチすると治療が開始され治療中の画面になります。



治療を途中で停止したい場合、**停止ボタン** をタッチすると「治療停止の画面」になります。しばらくすると画面は「治療時間選択画面」に戻ります。

6 治療が終了しました。

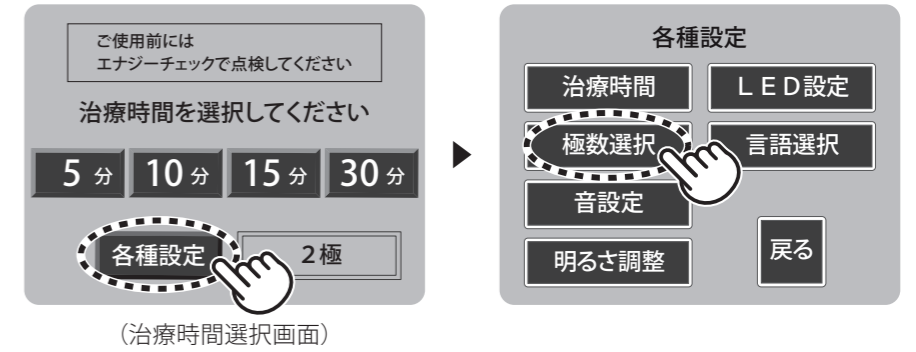
終了音が鳴り、治療終了になります。
「治療終了の画面」後、「治療時間選択画面」に戻ります。



※ 終了音を「鳴らさない」設定にしている場合、治療終了時に終了音は鳴りません。

3. 極数選択 出力極数を選択します。

1 **各種設定** をタッチし、**極数選択** をタッチしてください。



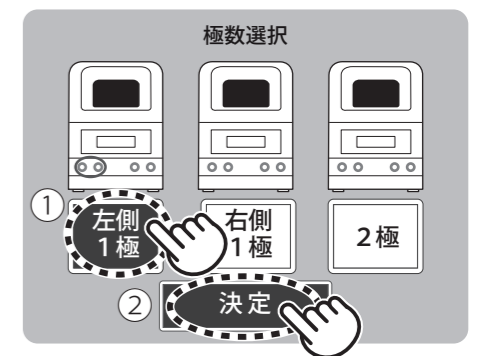
2 「極数選択画面」になります。

極数を選択してください。

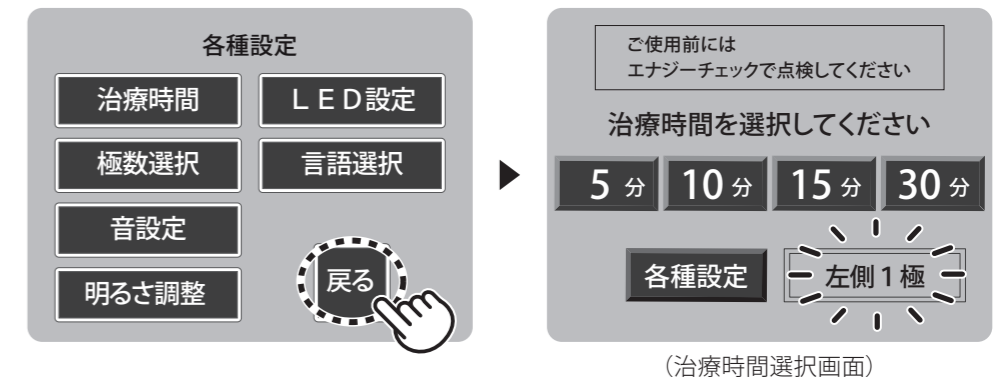
※ 出荷時の設定は「2極」になっております。

例) 左側1極に設定する場合

左側1極 をタッチし、**決定** をタッチします。

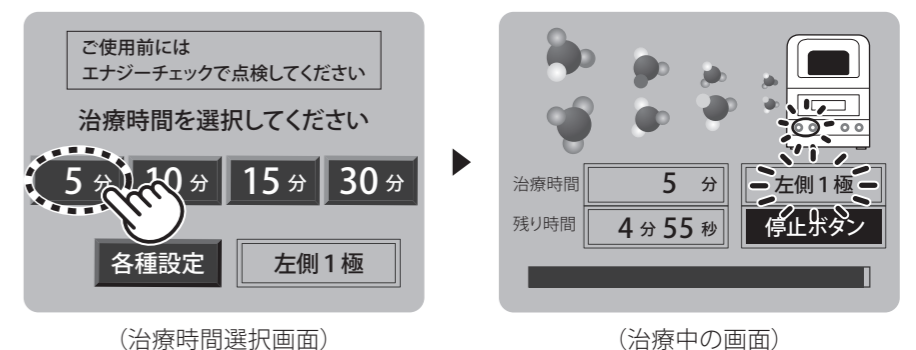


3 **戻る** をタッチすると「治療時間選択画面」になり「左側1極」の選択になりました。



4 **5分** をタッチすると治療が開始され治療中の画面になります。

治療中の画面に出力の位置と **左側1極** が表示されます。

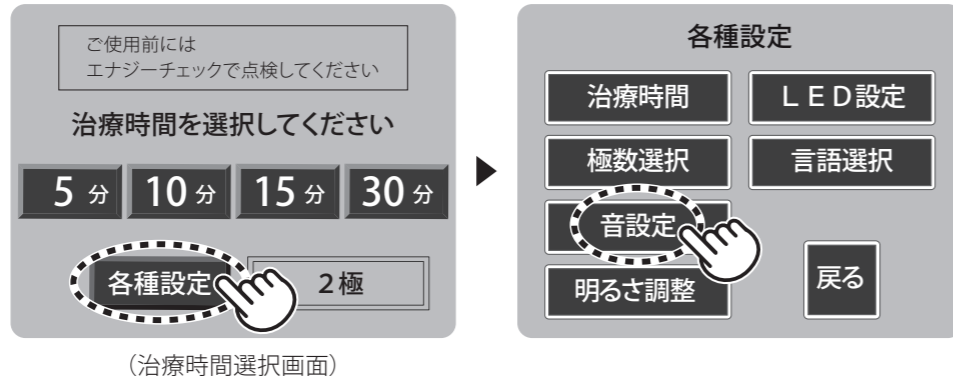


9. 操作方法

4. 終了音、操作音を設定する

1 **各種設定** をタッチし、**音設定** をタッチしてください。

※ 出荷時の設定は、終了音及び操作音共に「鳴らす」に設定されています。

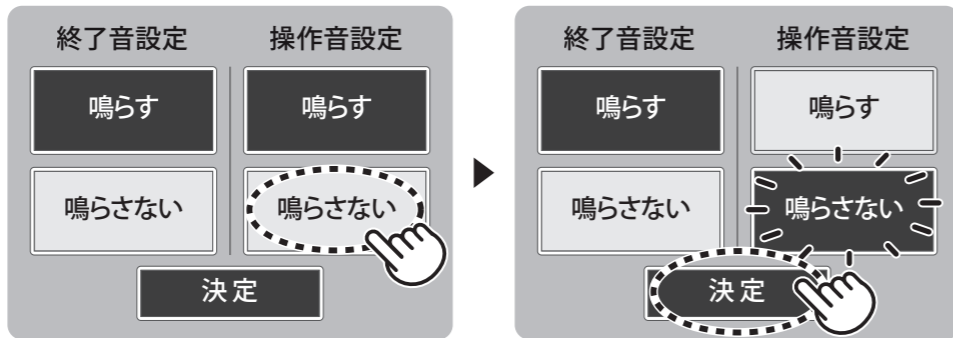


2 「終了音設定」、「操作音設定」画面になります。

終了音設定……治療終了後に鳴る音 操作音設定……操作ボタンを操作する時に鳴る音

例) 操作音を「鳴らさない」設定にする

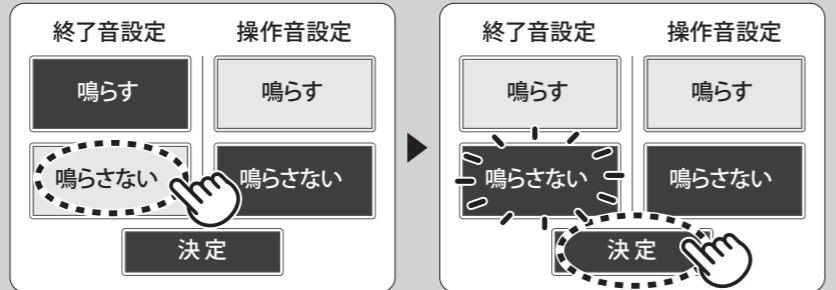
操作音設定の **鳴らさない** をタッチし、**決定** をタッチしてください。



終了音を「鳴らさない」設定にする場合

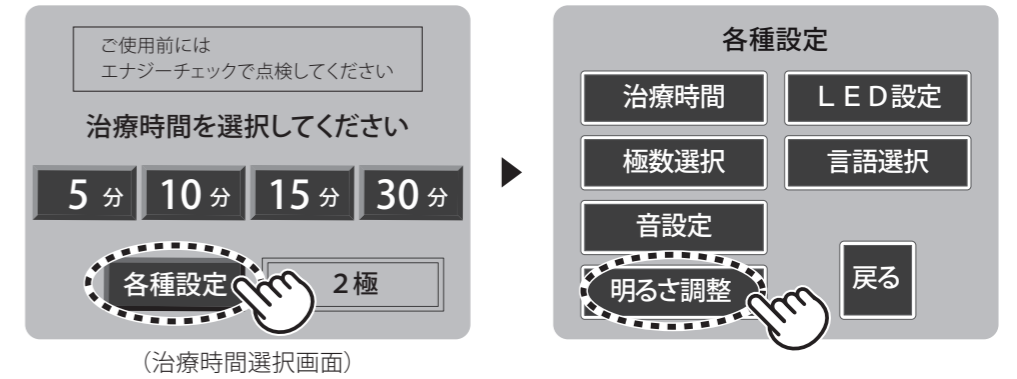
終了音設定の **鳴らさない** をタッチし、**決定** をタッチしてください。

終了音を鳴らさない設定にすると治療終了時に終了音は鳴りません。



5. 明るさ調整をする 液晶画面の明るさを調整します。

1 **各種設定** をタッチし、**明るさ調整** をタッチしてください。

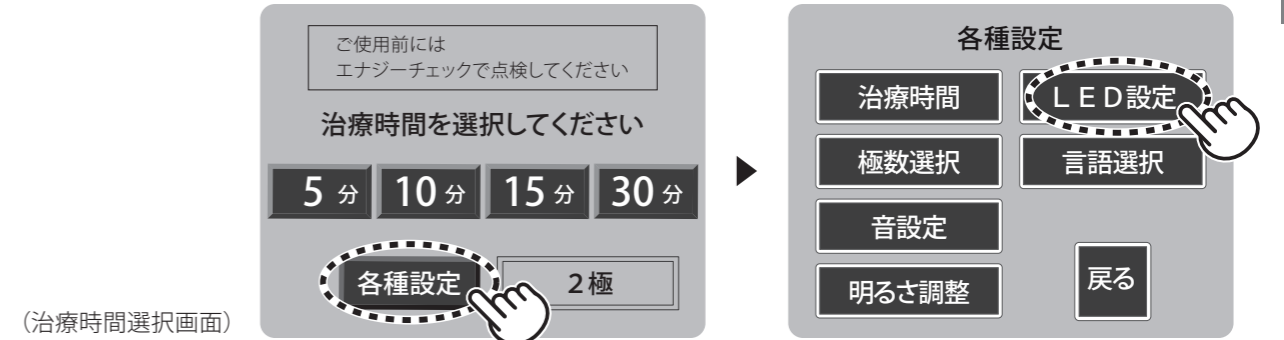


2 「明るさ調整」画面になります。
お好みの明るさに調整し、**決定** をタッチしてください。



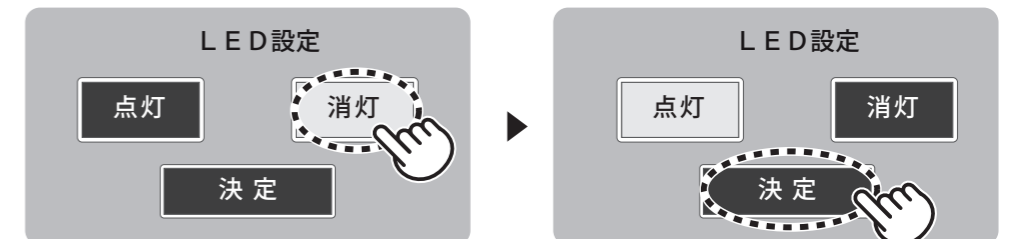
6. LED設定をする 光銘板 (Mi ENERGY) の点灯、消灯の設定です。

1 **各種設定** をタッチし、**LED設定** をタッチしてください。



2 例) 光銘板を消灯したい場合 ※出荷時の設定は「点灯」に設定されています。

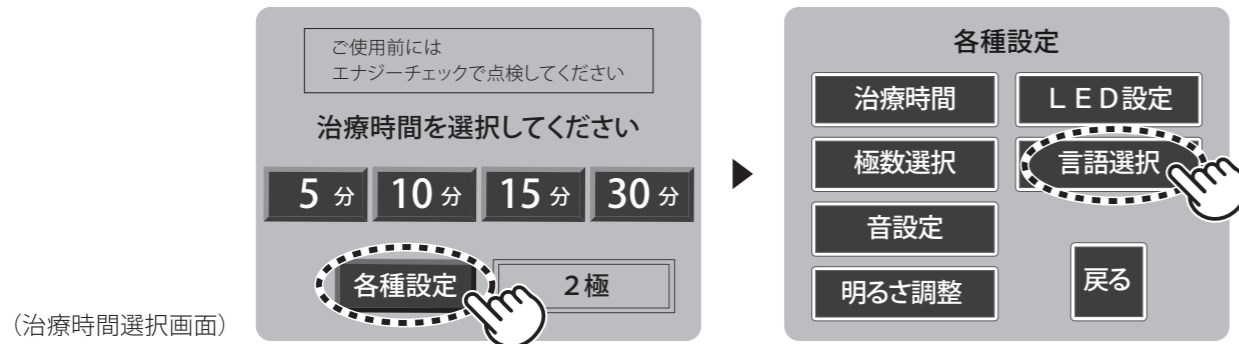
消灯 をタッチし、**決定** をタッチしてください。



9. 操作方法

7. 言語選択

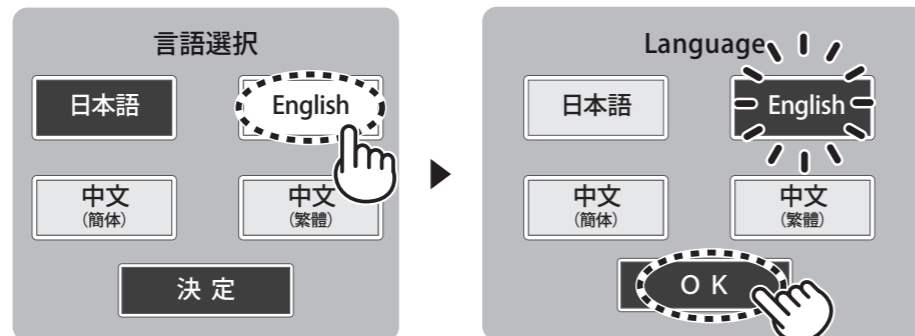
1 各種設定 をタッチし、言語選択 をタッチしてください。



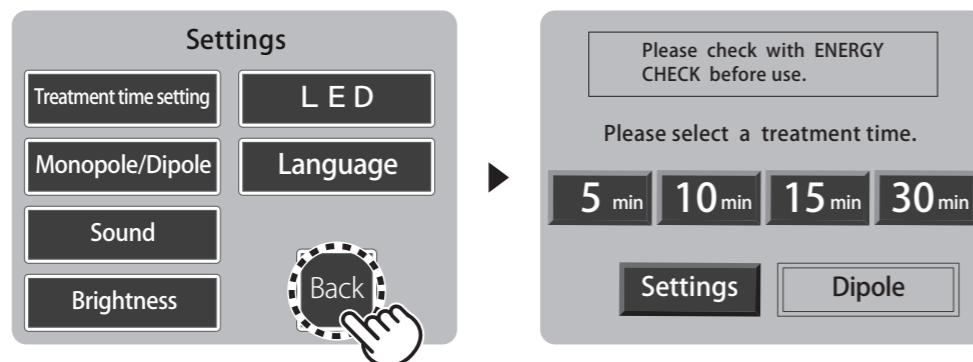
(治療時間選択画面)

2 例) 日本語→Englishに変更する場合 ※出荷時は「日本語」に設定されています。

English をタッチし、OK をタッチしてください。

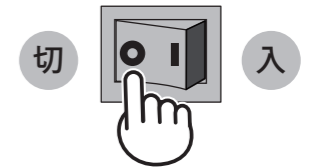


3 「Settings画面」になり Back をタッチすると英語表記の「治療選択画面」になります。



10. 使用後の注意事項

使用後は、本体後面の電源スイッチを「切」にしてください。

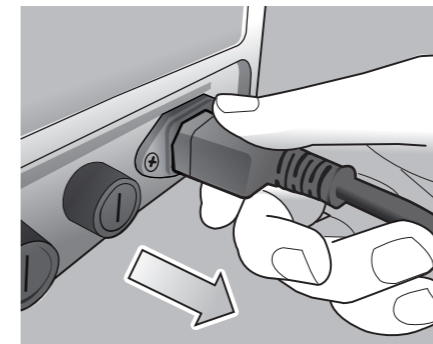


付属品などは、次の使用に支障がないように清潔にし、湿気の少ない所に整理して置いてください。

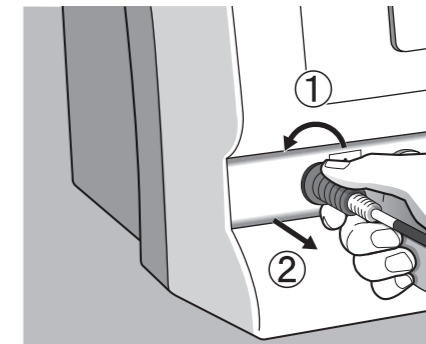
- 治療終了後はベルトを外し、導子極板A C、導子極板Y Dを離れた状態で自然乾燥させてください。
- 付属のカバーは汗等の成分が付着しますのでこまめに洗ってください。

本体を移動するときは、本体から電源コード及び各導子極板を外してください。

また、本体を誤って落とさないように両手でしっかり持ってください。



① 電源コードを抜く



② 各極板プラグを左に90度回し、まっすぐ引き抜く

本体を誤って落としたときは、必ず販売店に連絡し、点検を受けてください。

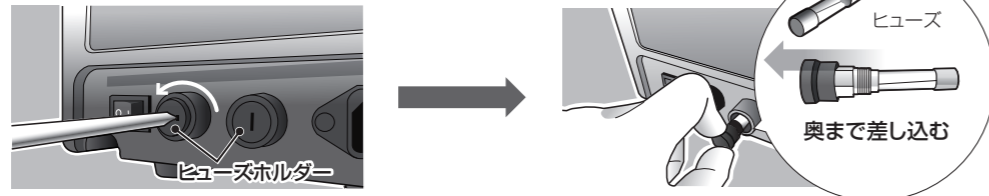
- 外観上異常がなく、その直後に正常に作動したとしても、後で故障や事故につながるおそれがあります。

11. お手入れと保管

1. 消耗品の交換 (保証対象外)

- 導子極板は消耗品です。
- 治療による効能や効果を十分に維持するために、導子極板ACは1年毎の交換をおすすめします。
- 断線・破損した導子極板YDを使用すると、感電や電撃を受けるおそれがありますので、導子極板YDは1~2年毎の点検をおすすめします。
- 電源コードや各導子極板に損傷などが生じているときは、そのまま使用すると危険です。新しいものに交換してください。
- 各導子極板は長年使用するとケーブルの断線などで火傷や感電、火災などの事故のおそれがあります。

ヒューズ(2A)は以下のとおり交換してください。(ヒューズが切れていると本機が作動しなくなります。)



- 感電の恐れがありますので、ヒューズの交換の時は、電源コードのプラグを持ってコンセントから抜いてください。
- 本体後面下部のヒューズホルダー(2カ所)をマイナスドライバーで奥へ押しこみ左へ90度回すと外れます。ヒューズホルダーを取り出して、新しいヒューズを差し込みます。ヒューズの向きは前後逆になっても問題はありません。その後、凹部にあわせてマイナスドライバーでヒューズホルダーを押しこみ右へ90度回して必ずしめてください。
- 過電流や電気系統の異常が生じた場合、ヒューズが切れることがあります。

本体及び付属品を廃棄する時は、環境への影響を少なくするため、地域で定められている規則に従って処分してください。また、不明な場合は販売店までご連絡ください。

2. 保管方法

- 本体および付属品は、次の使用に支障がないように清潔にし、また、付属のカバー等は洗濯をし、湿気の少ない場所に整理して保管してください。
- しばらく使用しなかった機器を使用するときは、各導子極板を本体に接続して電源スイッチ、液晶画面のキーが正常にかつ安全に作動することをエネルギーチェックで確認してください。
- 長期間使用されず、再び使用するときは、お買い求めの販売店にご連絡の上、点検を受けてください。
- 埃、虫等が入らないようにしてください。
- 火気及び熱源の近くで保管しないでください。
- 不安定な場所で保管しないでください。
- 直射日光のあたる場所で保管しないでください。
- 小児の手の届かないところに保管してください。
- コンセントと電源コードプラグ間の埃を取りのぞいてください。

3. 治療器の廃棄または譲渡等

- 治療器の廃棄または譲渡等を希望されるときは、安全上及び法律により、お買い求めの販売店にご連絡ください。

12. エナジーチェック (ENERGY CHECK)

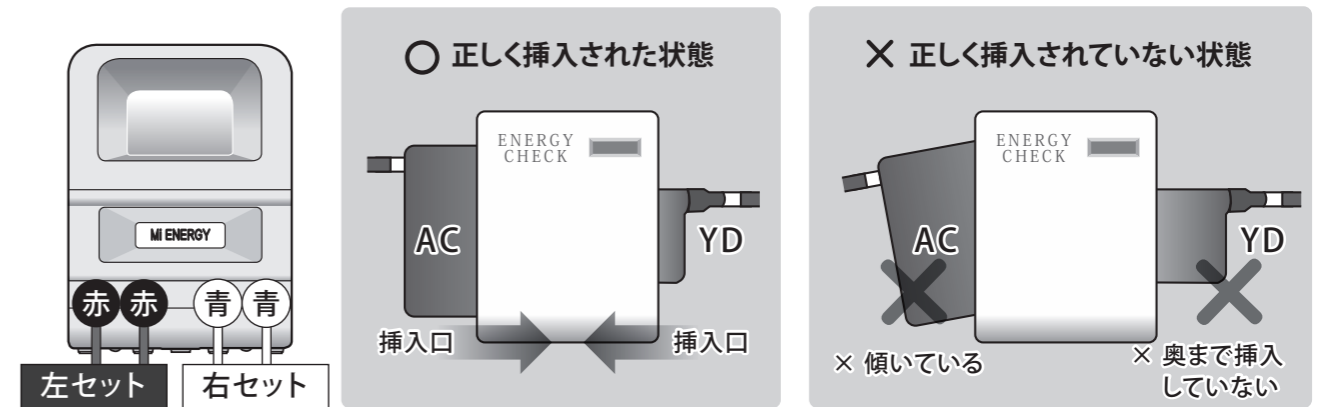
1. 用途

エネルギーチェックは、エネルギーの使用前の点検に用いる検査機器です。

(エネルギーチェックは、本体からの出力有無や導子極板ケーブルの導通有無を確認するものです。導子極板の消耗・劣化状態を確認するものではありません。導子極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。)

2. エナジーチェック (ENERGY CHECK) の使用方法

1 エナジーチェックを水平な場所に置き、カバーを外した導子極板AC、YDを各挿入口に奥まで挿入します。必ず、左右のセットごとに点検してください。

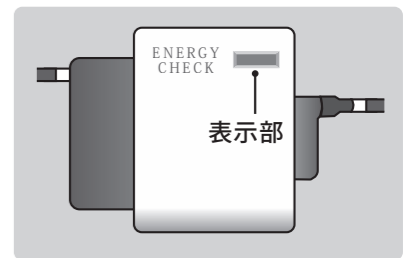


2 奥まで挿入した時、表示部が消えている事を確認します。

導子極板に電位が帯電している時、運転状態前に表示部が点灯することがあります。

その場合、表示部が完全に消えてから点検してください。

また何度も続けて点検した場合、電位差が飽和状態となりOKが表示しなくなります。しばらく時間をおいて点検してください。

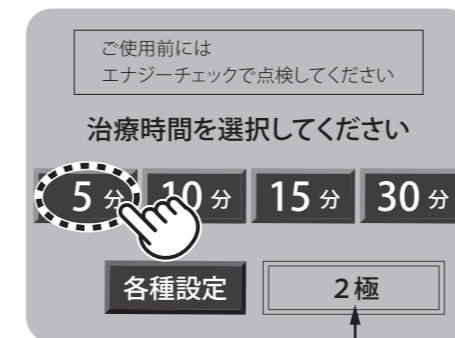


3 Miエネルギーを運転状態にします。異常がなければ「OK」表示が点灯します。

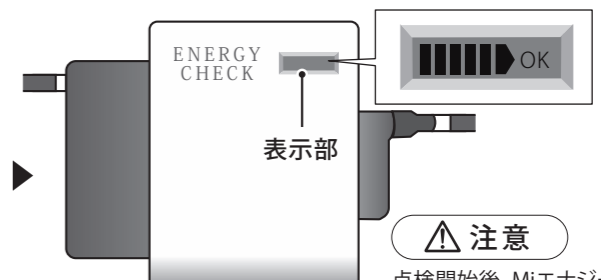
点検中は導子極板の装着部に触れないようにしてください。

いずれの治療時間を選択してもかまいません。

- OK → 反応した状態
一瞬でも表示されれば正常です。
- × → 反応していない状態
お買い求めの販売店までご連絡をお願いします。
- × → かすれた状態
もう一度最初の手順に従ってください。



(治療時間選択画面) ※極数選択設定を確認してください。



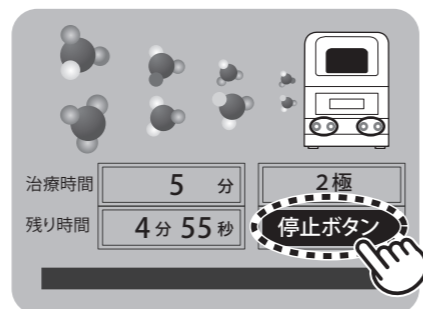
⚠ 注意
点検開始後、Miエネルギーを30秒以上運転状態にしないでください。

12. エナジーチェック (ENERGY CHECK)

2. エナジーチェック (ENERGY CHECK) の使用方法 (つづき)

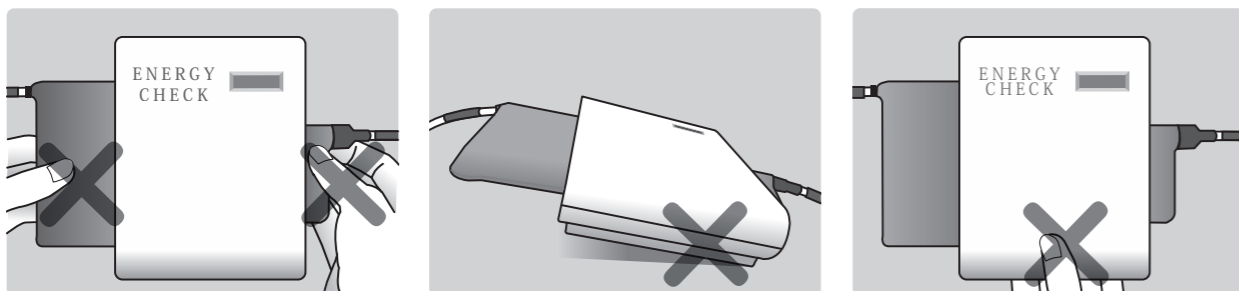
4 **停止ボタン** をタッチし、Miエナジーの運転を停止し、導子極板AC、YDを挿入口より抜き取ります。

エナジーチェックの表示部に「OK」表示が点灯されない場合は、Miエナジーのご使用を中断し、お買い求めの販売代理店までご連絡をお願いします。



(治療中の画面)

3. 次の点にご注意ください



× 手で導子極板の装着部を触っている

× 不安定な設置をしている



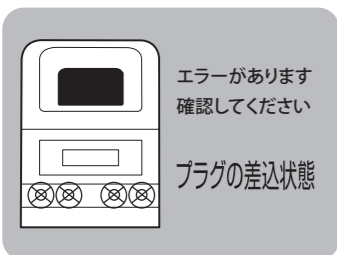
- 幼児の手の届かない所に保存してください。
- 風呂場など、水のかかる所に置かないでください。
- 高い所から落下させたり、強い衝撃を与えないでください。
- 改造又は、分解しないでください。
- 用途以外に使用しないでください。
- 直射日光、高温または多湿の所に置かないでください。

※エナジーチェックは保証対象外とさせていただきます。

13. トラブル対処方法

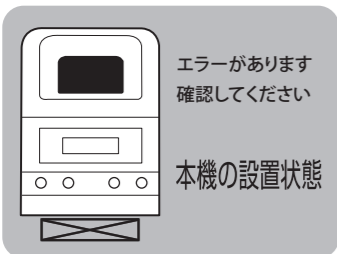
1. 本体のトラブル表示

液晶パネルにエラーが表示された時は、下記のとおり対処してください。



プラグが差し込まれていない時

プラグが確実に差し込まれていない時、画面上に「プラグの差込状態」と表示され、プラグが接続されていない箇所に ⊗ が表示されます。この印のあるところにプラグの色を合わせて差し込みます。エラーがなくなりますとエラー解除の画面が表示され、引き続き「治療中の画面」に戻ります。



Miエナジーが正常に設置されていない時

エナジー本体が正常に設置されていない時、画面上に「本機の設置状態」と表示され、本体の底部に ⊗ が表示されます。本体を平らな場所に置きなおしてください。エラーがなくなりますとエラー解除の画面が表示され、引き続き「治療中の画面」に戻ります。

治療時間の設定時間が0分の時

0分は設定できません
1分以上で設定しなおしてください

OK

治療時間を0分で「ENT」をタッチした時に表示されます。「OK」をタッチして、1～99分に設定してください。

2. 故障かなと思ったとき 故障かな?と思ったら次のことをお調べください。

状況	チェック	対策
液晶画面になにも表示されない。	電源コードは正しく接続されていますか?	電源コードのコネクタを本体後面の差し込み口に差し込んでください。電源コードのプラグをコンセント(交流100V)に差し込んでください。
	本体後面の電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」にしてください。
	本体後面の電源スイッチの「入・切」が正常に行えますか?	正常に行えない場合は本体の故障です。販売店に修理を連絡してください。
液晶画面にエラー表示が出る。	導子極板のプラグがソケットに正しく接続されていますか?	導子極板のプラグをソケットに差し込んでください。
	本体が正常に設置されていますか?	本体を平らな場所に置いてください。
次の画面に切り替わらない。	画面がフリーズしている可能性があります。電源スイッチを「切」にし、再び「入」にして液晶画面の表示を確認してください。	状況が改善されなければ通信エラーが考えられます。販売店に修理を依頼してください。
治療終了後、終了音が鳴らない。操作音が鳴らない。	「各種設定」における終了音、操作音が「鳴らさない」になっていませんか?	「鳴らす」に変更してください。(24ページ参照) 状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。
エナジーチェックでの導子極板の点検時、「OK」が表示されない。	極数選択が左側1極、または右側1極の設定になっていませんか?	極数選択を2極設定にして、出力をエナジーチェックで再確認してください。
	導子極板の装着部を手で触れていませんか?	導子極板をエナジーチェックに挿入後、手を導子極板から離して点検してください。
	表示時間が短い、見逃していませんか?	もう一度、点検してください。一瞬でも表示されれば正常です。
	運転状態になっていますか?	運転状態になっていない場合、液晶画面の治療時間をふれてください。
	水平な場所で導子極板がエナジーチェックの挿入口にきちんと入っていますか?	水平な場所で導子極板を挿入口に適切に入れて、再度点検してください。
	何度も続けて点検していませんか?	しばらく時間をおいて再点検してください。

※対策実施後、状況が改善されなければ本体の故障です。販売店に修理を依頼してください。

3. その他の質問事項

状況	回答
導子極板からの音が小さい。	導子極板から聞こえる音については、極板内の隙間を通る放電音ですので、環境、導子極板の消耗等さまざまな要因によって大きさは違ってきます。尚、導子極板から聞こえる音の大きさは、環境等により異なりますので出力の判断基準にはなりません。
エナジーチェックの表示時間が短い。	エナジーチェックの表示は電位差により帯電させることで表示させておりますが、音と同様にさまざまな要因によって表示時間が異なる場合があります。またエナジーチェックの表示部は、長時間帯電させると壊れることがあり、強制的に放電させるようになっておりますので、チェックしている間表示し続けるものではありません。従いまして、導子極板から聞こえる音の大きさ及びエナジーチェックの表示時間の長さが判断基準ではなく、エナジーチェックに反応しているかどうか出力の有無の判断基準となります。

14.仕様

※掲載した製品の仕様や外観は改良等の理由により、予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

一般的名称	電位治療器
機器の分類	管理医療機器(特定保守管理医療機器)
販売名	Miエナジー
型式	ET-21
外形寸法	240(W)×330(H)×250(D)(mm)
定格電圧	100-240V～(日本国内での使用の場合、AC100Vに限定)
定格周波数	50-60Hz
電源入力	50VA
重量	約5kg(治療器本体)
治療時間	任意設定(1分～99分)
出力電圧	直流 -5500±500V
基本性能	本製品の基本性能は「出力電圧 DC-5500V±500V」です。電磁妨害により基本性能が喪失又は低下した場合、液晶画面がちらついたり、操作不能になることがあります。その際は、機器本体の電源を切り、治療を中止してください。
出力極数	1極または2極の選択が可能
安全装置	・導子極板プラグが抜けた時、運転の自動停止 ・導子極板プラグが正常に挿入されていない時、運転しない ・本体が正常に設置されていない時、運転の自動停止 ・過電流保護 出力部に保護抵抗を直列接続して電流の流れを制限
電撃保護分類	クラス I 機器
電撃保護の程度	B形装着部
外郭保護分類	IPX0
作動モード	連続運転
医療機器認証番号	21500BZZ00602000

使用・保管環境	使用温度	10～39℃
	使用湿度	30～85%RH(結露なきこと)
	輸送・保管温度	0～50℃
	輸送・保管湿度	10～90%RH(結露なきこと)

ユーザプロフィール

操作者	医師、看護師、理学療法士、作業療法士
性別	男女
年齢	20歳以上
資格	医師免許、看護師免許、理学療法士免許、作業療法士免許
使用頻度	30分/回 数回/日
言語	日本語
知識	11歳以上で5年以上の学校教育を受けたもの
患者	
年齢	3歳以上
体重	10kg以上
治療部位	手、足、肩、後頸部、下腹部
使用場所	専門の医療用施設内

付属品	導子極板 A C(4m/2.5m)・・・2本	電源コード(2m)……………1本	スパイラルチューブ (導子極板 4m仕様……………16本) (導子極板2.5m仕様……………10本)
	導子極板 Y D(4m/2.5m)・・・2本	接地アダプタ……………1個	
	カバー小……………4枚	取扱説明書……………1部	
	カバー特小……………8枚	予備ヒューズ(2A)……………1個	
	ベルト特小W(長さ30cm)・・・4本	絶縁マット(90cm×190cm)・・・1枚	
	ベルト中(長さ80cm)……………1本	エナジーチェック……………1個	
	ベルト大(長さ120cm)……………1本		

電磁エミッション

Miエナジーは、次に指定した電磁環境内で使用を意図している。
Miエナジーの顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

エミッション試験	適合性	電磁環境—ガイダンス
放射妨害電界強度 CISPR11	グループ1	Miエナジーは、内部機器のためだけにRFエネルギーを用いている。したがって、そのRFエミッションは、非常に低く、近傍の電子機器に対して何らかの干渉を生じさせる可能性は少ない。
端子妨害電圧 CISPR11	クラスB	Miエナジーは、住宅環境及び住宅環境の建物に供給する商用の低電圧配電系に、直接接続したものを除く全ての施設での使用に適している。
高調波電流 IEC 61000-3-2	クラスA	
電圧変動/フリッカ IEC 61000-3-3	適合	

電磁イミュニティ

Miエナジーは、次に指定した電磁環境内で使用を意図している。
Miエナジーの顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合レベル	電磁環境—ガイダンス
静電気放電(ESD) IEC 61000-4-2	接触:±8kV 気中:±2,4,8,15kV	接触:±8kV 気中:±2,4,8,15kV	床は木材、コンクリート又はセラミックタイルであることが望ましい。 床が合成材料で覆われている場合、相対湿度は、少なくとも30%であることが望ましい。
電氣的ファストトランジェント/バースト IEC 61000-4-4	電源ライン:±2kV 入出力ライン:±1kV	電源ライン:±2kV 入出力ライン:±1kV	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
雷サージ IEC61000-4-5	ライン-ライン間:±1kV ライン-接地間:±2kV	ライン-ライン間:±1kV ライン-接地間:±2kV	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。
電源周波数磁界 IEC61000-4-8	30A/m(50/60Hz)	30A/m(50/60Hz)	画像にひずみが生じた場合、電源周波数磁界の発生源から離して配置するか、又は磁気シールドを施す必要があるかもしれない。 電源周波数磁界は、意図する設置場所において十分に低い値であることを確認できるよう測定できることが望ましい。
電圧ディップ/短時間停電および電圧変動 IEC61000-4-11	0%UT:0.5サイクル間 0°,45°,90°,135°,180°,225°,270°及び315°で 0%UT:1サイクル及び 70%UT:25/30サイクル 単相:0°で	0%UT:0.5サイクル間 0°,45°,90°,135°,180°,225°,270°及び315°で 0%UT:1サイクル及び 70%UT:25/30サイクル 単相:0°で	電源の品質は、標準的な商用又は病院環境と同じであることが望ましい。 Miエナジーの使用者が電源の停電中にも連続した稼働を要求する場合には、Miエナジーを無停電電源又は電池から電力供給することを推奨する。

携帯形及び移動形RF通信機器と機器又はシステムとの間の推奨分離距離 非生命維持及びシステムに関して

Miエナジーは、放射RF妨害を管理している電磁環境内での使用を意図している。Miエナジーの顧客又は使用者は、送信機器の最大出力に基づく次に推奨している携帯形及び移動形RF通信機器(送信機)とMiエナジーとの間の最小距離を維持することで、電磁障害を抑制するのに役立つ。


送信機の最大定格出力電力 (W)	送信機の周波数に基づく分離距離 (m)		
	150kHz～80MHz $d = \left[\frac{3.5}{V_1} \right] \sqrt{P}$	80MHz～800MHz $d = \left[\frac{3.5}{E_1} \right] \sqrt{P}$	800MHz～2.7GHz $d = \left[\frac{7}{E_1} \right] \sqrt{P}$
0.01	0.12	0.12	0.23
0.1	0.38	0.38	0.73
1	1.2	1.2	2.3
10	3.8	3.8	7.3
100	12	12	23

14.仕様

電磁イミュニティ-非生命維持装置機器及びシステムに関して

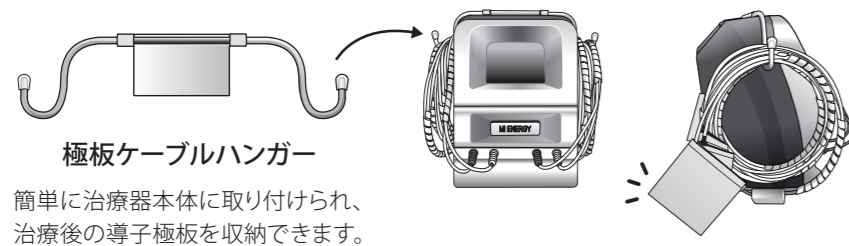
Miエナジーは、次に指定した電磁環境内での使用を意図している。

Miエナジーの顧客又は使用者は、このような環境内でそれを用いていることを確認することが望ましい。

イミュニティ試験	試験レベル	適合レベル	電磁環境-ガイダンス
伝導イミュニティ IEC 61000-4-6	3V/m 150kHz~ 80MHz	[V1] V	携帯型及び移動型RF通信機器は、ケーブルを含むMiエナジーのいかなる部分に対しても、送信機の周波数に該当する方程式から計算した推奨分離距離より近づけて使用しないことが望ましい。 推奨分離距離 $d = \left[\frac{3.5}{V_1} \right] \sqrt{P}$ $d = \left[\frac{3.5}{E_1} \right] \sqrt{P} \quad 80\text{MHz} \sim 800\text{MHz}$ $d = \left[\frac{7}{E_1} \right] \sqrt{P} \quad 80\text{MHz} \sim 2.7\text{GHz}$ ここで、Pは送信機製造業者によるワット (W) で表した送信機の最大定格出力電力であり、dは、メートル (m) で表した推奨分離距離である。 電磁界の現地調査によって決定する固定RF送信機からの電界強度は、各周波数範囲における適合性レベルより低いことが望ましい。 次の記号を表示している機器の近傍では干渉が発生するかもしれない。 
放射無線周波数 電磁界 IEC 61000-4-3	電3V/m 80MHz ~ 2.7GHz	[E1] V/m	

15.その他

別売品 ※ご注文は販売店までご連絡ください。



自然乾燥に最適!
吊るす事によって導子極板が
乾燥しやすくなります。

15.その他

保証書について

本製品には保証書が付いています。お受取りになった保証書は、記載内容及び「販売店名・購入日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。

必要事項が記載されていない場合は、お買い求めの販売店にお申し付けください。

保証期間は、保証書に記載されています。また、本保証書は日本国内においてのみ有効です。

アフターサービスについて

本体に異常を感じた時は

修理を依頼される前に、31ページの「故障かなと思ったとき」をご覧ください。

それでも異常がある時は、ご使用を中止し、必ず電源コードのプラグを抜いてから、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

保証期間中の修理、その他

- 保証書は、取扱説明書の注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、無料修理させていただくことをお約束するものです。
無償保証期間内に故障して修理を受ける場合は、商品に保証書を添えてお買い求めの販売店又はレルテック医療器㈱に依頼の上、持込または輸送してください。
輸送する場合は、納入時の梱包材をご使用いただき梱包願います。
- 保証期間中でも、次の場合には有料になります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障及び損傷
 - お買い求め後の落下、輸送などによる故障及び損傷
 - 保証書のご提示がない場合
 - 保証書にお買い求め年月日、お客様名、販売店の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられていた場合
 - 不適切な消耗品、規定外の交換部品の使用による本製品の故障及び損傷
 - 消耗による消耗品等の交換(導子極板A・C・Y・Dを含む。)
 - 修理見積りを提示後、お客様の都合により修理をキャンセルする場合
 - 修理依頼箇所について弊社にて一連の検査の上、異常が確認が出来なかった場合
- 製品の耐用期間は7年です。

保証期間が過ぎた場合

修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理いたします。

補修用性能部品は製造打切後、7年間保有しています。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理のご依頼は、お買い求めの販売店またはレルテック医療器㈱にご連絡ください。

保証外

- 第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害に関して、当社は一切責任を負いません。